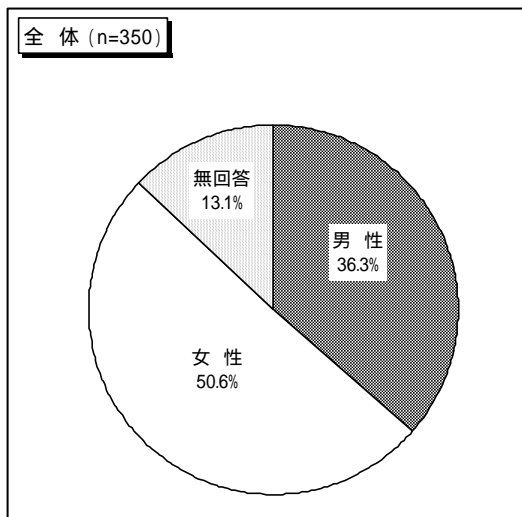


市民アンケート 調査結果

あなた自身についておたずねします。

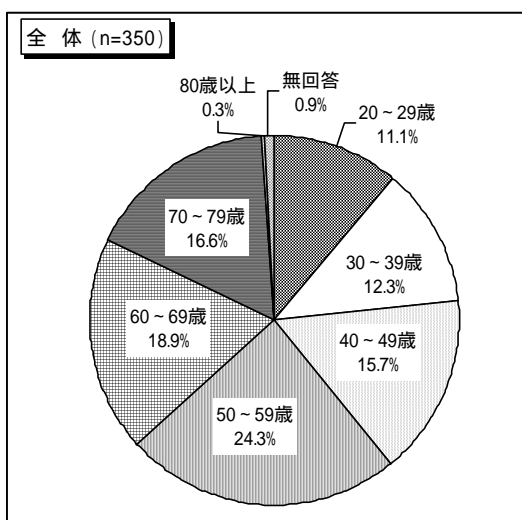
それぞれ、あてはまるものを1つ選んで をつけてください。

問1 性別	1 . 男性	2 . 女性
-------	--------	--------



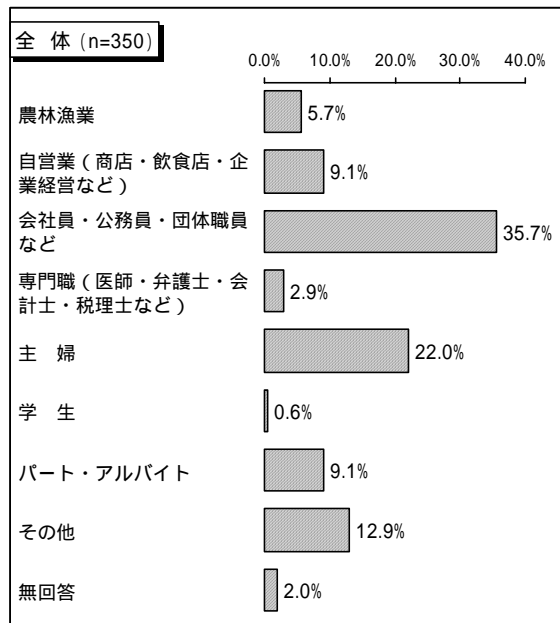
「男性」が36.3%、「女性」が50.6%と、女性の回答数が多くなっています。

問2 年齢	1 . 20～29歳	5 . 60～69歳
	2 . 30～39歳	6 . 70～79歳
	3 . 40～49歳	7 . 80歳以上
	4 . 50～59歳	



「80歳以上」を除いて、ほぼ均等に各年代から回答を得られ、それぞれ、女性の回答率が高くなっています。

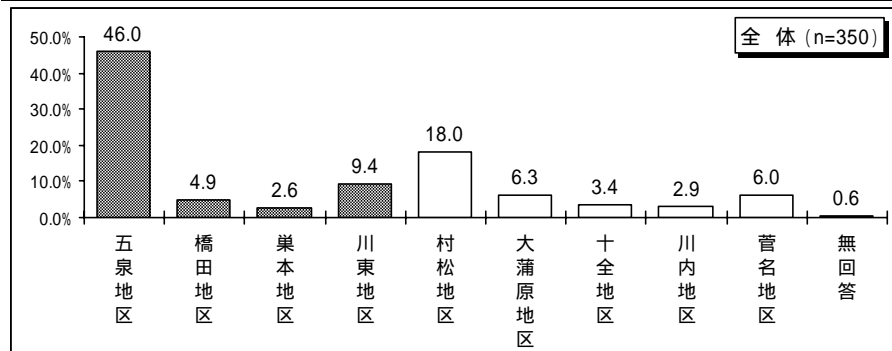
問3 職業	1. 農林漁業 2. 自営業(商店・飲食店・企業経営など) 3. 会社員・公務員・団体職員など 4. 専門職(医師・弁護士・会計士・税理士など) 5. 主婦 6. 学生 7. パート・アルバイト 8. その他()
-------	--



「会社員・公務員・団体職員」が 35.7% と最も高く、次いで「主婦」が 22.0% と高くなっています。

年齢別で見ると、農林漁業で 50 歳代が 100%、自営業で 50~60 歳代が 75.0% を占め、主婦で 60~70 歳代が 62.3% となっています。

問4 住所	(旧五泉市) 1. 五泉地区 2. 橋田地区 3. 巢本地区 4. 川東地区	(旧村松町) 5. 村松地区 6. 大蒲原地区 7. 十全地区 8. 川内地区 9. 菅名地区
-------	--	--



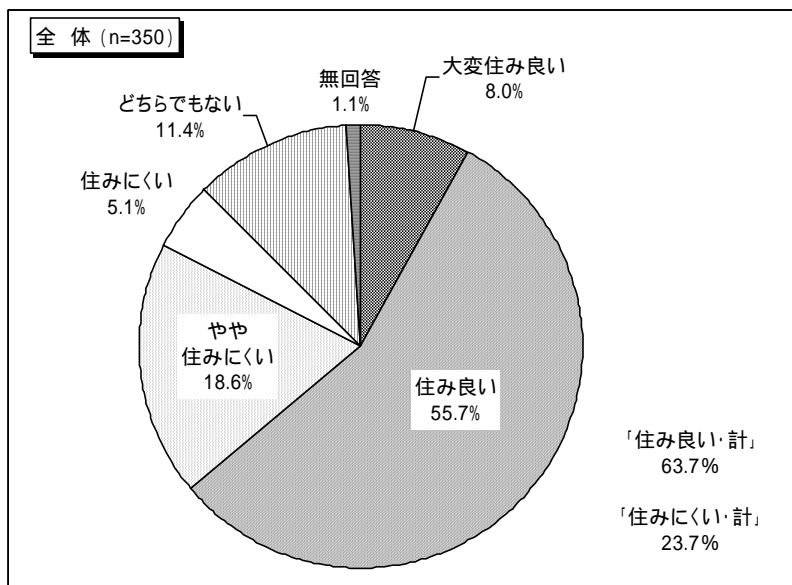
居住人口の多い「五泉地区」、「村松地区」との回答が多くなっています。

1. あなたの身近な環境についておたずねします。

問5 五泉市はあなたにとって住み良い所ですか。

下記からあてはまるものを1つ選んで をつけてください。

- | | |
|------------|------------|
| 1. 大変住み良い | 4. 住みにくい |
| 2. 住み良い | 5. どちらでもない |
| 3. やや住みにくい | |



「大変住み良い」と「住み良い」との回答が63.7%を占めています。

年齢別では40歳代から60歳代にかけて特に「住み良い」との回答が56~60%と多くなっています。

問6 現在のあなたの身の回りの環境について、どの程度満足しているか、あてはまるものを1つ
選んで をつけてください。

	満足	まあ満足	いもど 言えら なと	やや不 満	不満	
1. 山や川などの自然の景色の美しさ	1	2	3	4	5	
2. 川や池などの水辺のきれいさ	1	2	3	4	5	「4」、「5」と答えた方は問7へ
3. 山や身近に見かける動・植物について	1	2	3	4	5	
4. <u>外来種</u> の移入問題について	1	2	3	4	5	
5. 空気のきれいさ、においなど	1	2	3	4	5	「4」、「5」と答えた方は問8へ
6. 家の周りの静けさ、振動など	1	2	3	4	5	「4」、「5」と答えた方は問9へ
7. ごみの分別・収集・マナーなど	1	2	3	4	5	「4」、「5」と答えた方は問10へ
8. 下水道・浄化槽などの汚水処理の状況	1	2	3	4	5	
9. 公園や緑地の整備状況	1	2	3	4	5	
10. 文化的・歴史的財産の保全状況	1	2	3	4	5	
11. 街並みの美しさ	1	2	3	4	5	
12. 公共交通機関の整備状況	1	2	3	4	5	
13. 市民一人ひとりの省エネルギーへの取 り組み	1	2	3	4	5	
14. <u>新エネルギー機器</u> などの利用状況	1	2	3	4	5	
15. 行政・企業による環境情報の公開につ いて	1	2	3	4	5	
16. 学校での環境教育の状況	1	2	3	4	5	
17. 市民の環境学習の状況	1	2	3	4	5	
18. 市民一人ひとりの環境に対する意識	1	2	3	4	5	

外来種

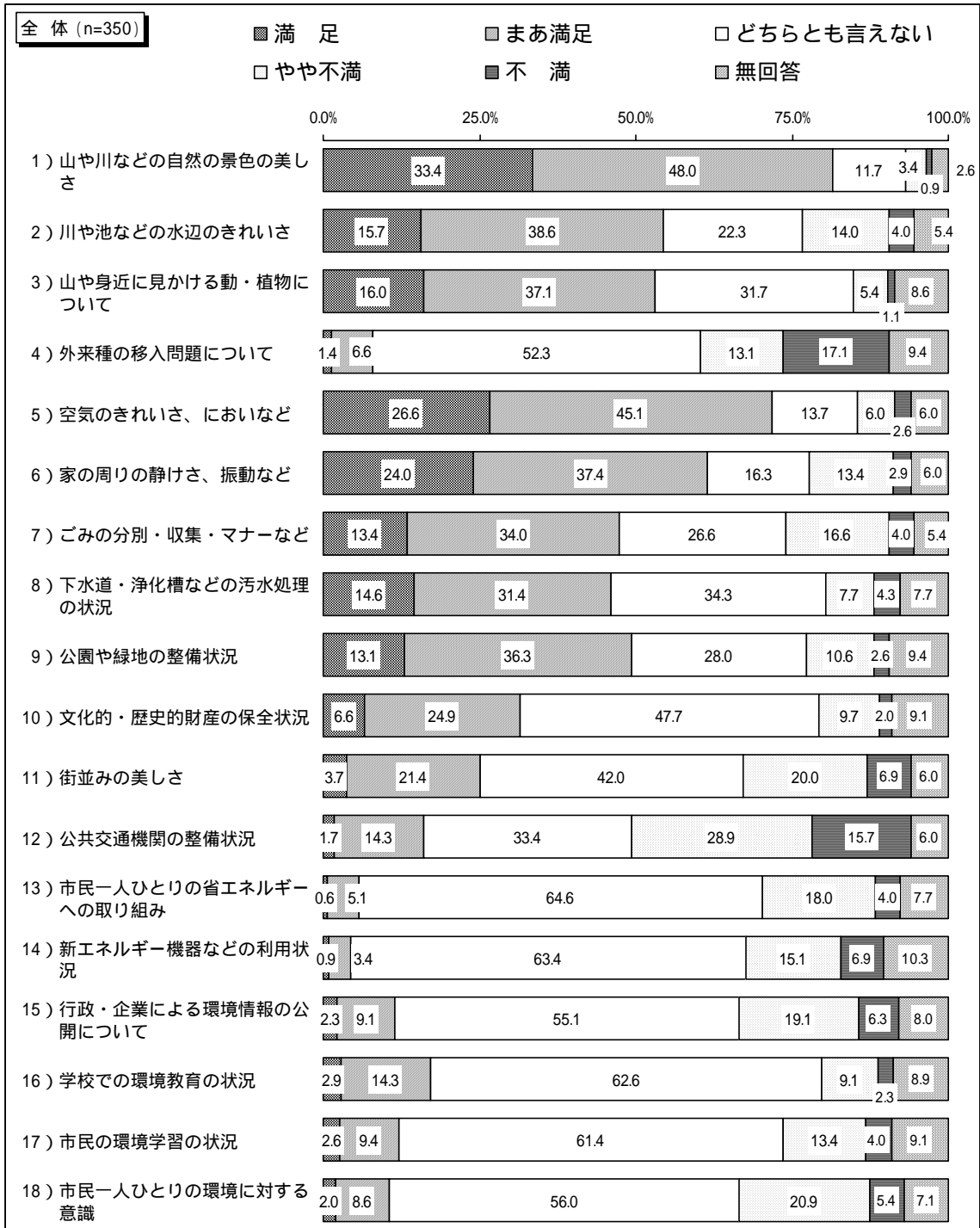
人間の活動によって植物や動物が移動し、それまで生息していなかった地域に定着・繁殖するようになった種のこと
で、在来種（もともと生息していた種）が絶滅に追いやられるケースがあります。

動物： ブラックバス（オオクチバス）、ミドリガメ（ミシシippiaアカミミガメ）など

植物： タンポポ（セイヨウタンポポ）、オオカナダモ（水草の一種）など

新エネルギー機器

ここでは家庭用の風力発電システム、太陽光発電システム、太陽熱給湯器、ガス発電給湯器などを言います。



最初に、ここでは、設問項目 1～18 までの各項目に関して、次のように分類とします。
 なお、問 12 においても同様とします。

- ・自然環境：1)「山や川などの自然の景色の美しさ」～4)「外来種の移入問題について」
- ・生活環境：5)「空気のきれいさ、においなど」～7)「ごみの分別・収集・マナーなど」
- ・社会環境：8)「下水道・浄化槽などの汚水処理の状況」～12)「公共交通機関の整備状況」
- ・地球環境：13)「市民一人ひとりの省エネルギーへの取り組み」～14)「新エネルギー機器などの利用状況」
- ・その他：15)「行政・企業による環境情報の公開について」～18)「市民一人一人の環境に対する意識」

現在のあなたの身の回りの環境についての満足度については、「満足」、「まあ満足」の合計が、「山や川などの自然の景色の美しさ」(81.4%)、「空気のきれいさ、においなど」(71.7%)、「家の周りの静けさ、振動など」(61.4%)の順で多くなっており、自然環境の豊かさやのどかさ、静けさに対する満足度が高いと言えます。

不満、「やや不満」の合計は、「公共交通機関の整備状況」(44.6%)、「外来種の移入問題について」(30.2%)、「街並みの美しさ」(26.9%)、「市民一人ひとりの環境に対する意識」(26.3%)、「行政・企業による環境情報の公開について」(25.4%)の順で多くなっており、社会環境や生活環境面の他、個人的なマナーやモラル、情報開示面など、様々な分野にわたっています。

また、「外来種の移入」、「省エネルギー・新エネルギー」、「環境情報の公開」、「環境教育・環境学習」、「市民の意識」について、「どちらとも言えない」との回答が多数を占めていることから、これらについては、現状認識や満足度の感覚レベルの違いが反映され、また、「街並みの美しさ」について、「満足・まあ満足」、「不満・やや不満」がほぼ同割合であることから、景観・美観に対する個人的な感覚の相違が反映されているものと思われます。

性別では、「街並みの美しさ」、「行政・企業による環境情報の公開について」、「学校での環境教育の状況」の3つの設問においては、男性の不満度が若干高くなっています。

年齢別で見ると、満足度に関して差異は見受けられませんが、不満度においては、20歳代で地球環境に対する不満度が高く、40～60歳代では社会環境・生活環境のほか、「行政・企業による環境情報の公開について」に対する不満度が高くなっています。

これは、年齢ごとに関心度・重要度の認識の違いを表した結果であると思われます。

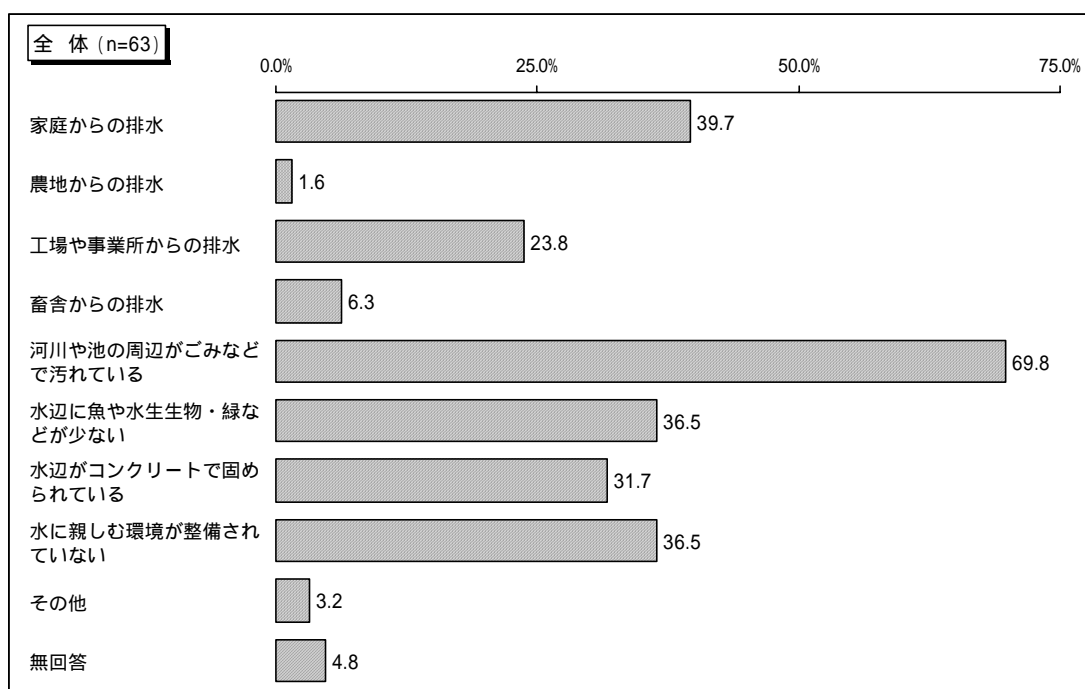
地区別では、自然環境に関しては各地区ともほぼ同様の回答率でしたが、旧村松町が旧五泉市と比べ満足度が高い結果となっています。これは、旧村松町において、山岳面積が多い立地環境や、これまで企業誘致や大規模開発が行われなかったため、豊かな自然環境が保全された結果であると考えられます。これに対して、旧五泉市においては、幹線道路沿い等で開発が進み、自然が失われてきたとの思いが反映されているものと考えられます。

社会環境に関しても旧村松町で高い満足度を示しているのに対し、「ごみの分別・収集・マナーなど」については巢本地区が、また「街並みの美しさ」については五泉地区、「公共交通機関の整備状況」については橋田地区で不満度が高い結果となっています。都市化の進展に伴い、不満度が高くなる傾向もうかがえます。

職業別では、会社員・公務員・団体職員で「ごみの分別・収集・マナーなど」に対する満足度が高くなっているほか、自営業で「下水道・浄化槽などの汚水処理の状況」に対する満足度が若干高くなっている傾向が見られます。

問7 問6の水辺のきれいさで「不満」「やや不満」につけた方は、不満の原因と思われるものを3つまで選んでつけてください。

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 家庭からの排水 | 6. 水辺に魚や水生生物・緑などが少ない |
| 2. 農地からの排水 | 7. 水辺がコンクリートで固められている |
| 3. 工場や事業所からの排水 | 8. 水に親しむ環境が整備されていない |
| 4. 畜舎からの排水 | 9. その他() |
| 5. 河川や池の周辺がごみなどで汚れている | |

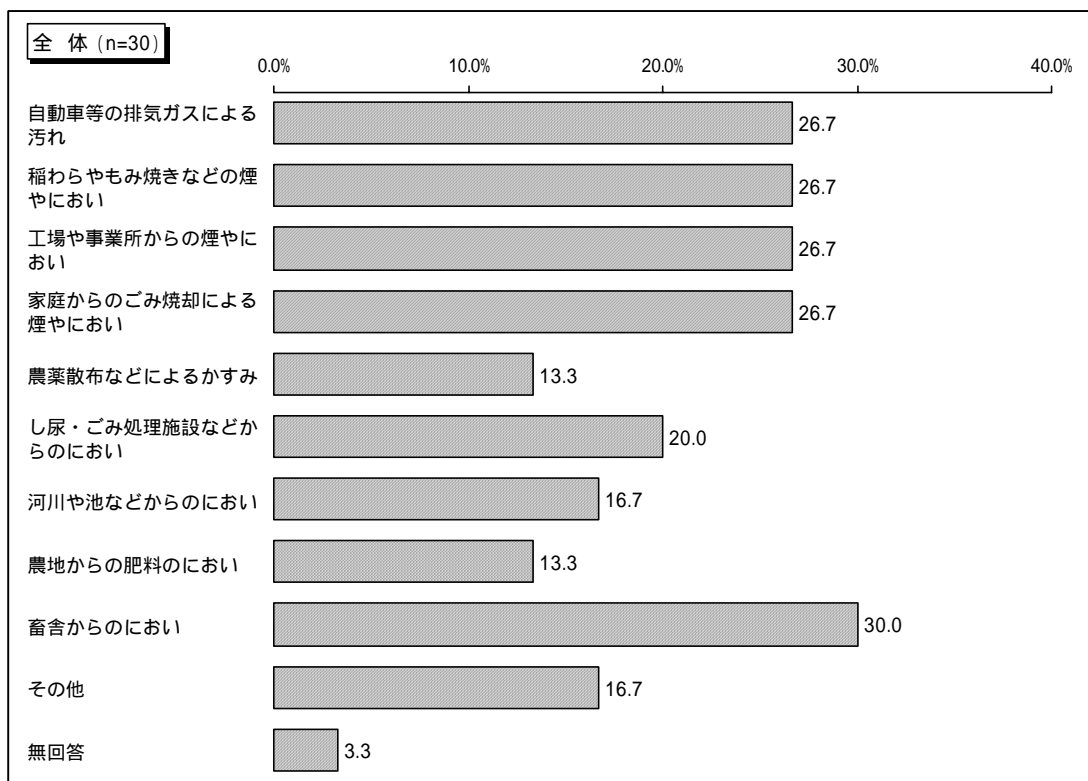


回答全体では、「満足」「まあ満足」の割合が54.3%、「不満」「やや不満」の割合が18.0%となっています。不満の原因として、約7割を占めているのが、「河川や池の周辺がごみなどで汚れている」です。これは五泉市民が「水」に対する関心、特に水質への関心が高いことの現れと考えられます。さらに「家庭からの排水」に対する不満度が「農地、工場や事業所からの排水」のそれを越えていることから、身近な水辺に対する関心の高さがうかがえます。

地区別に見ると、「工場や事業所からの排水」については、村松地区の不満度が高くなっており、本地区の良好な水環境が開発によって悪化することへの不安感の現れとも考えられます。また、「河川や池の周辺がごみなどで汚れている」については、五泉地区での不満度が高くなっており、溪流沿いや河川敷でのごみの不法投棄の実態等に起因するものとも考えられます。

問8 問6の空気のきれいさ、においなどで「不満」「やや不満」につけた方は、不満の原因と思われるものを3つまで選んでつけてください。

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 自動車等の排気ガスによる汚れ | 7. 河川や池などからのにおい |
| 2. 稲わらやもみ焼きなどの煙やにおい | 8. 農地からの肥料のにおい |
| 3. 工場や事業所からの煙やにおい | 9. 畜舎からのにおい |
| 4. 家庭からのごみ焼却による煙やにおい | 10. その他() |
| 5. 農薬散布などによるかすみ | |
| 6. し尿・ごみ処理施設などからのにおい | |

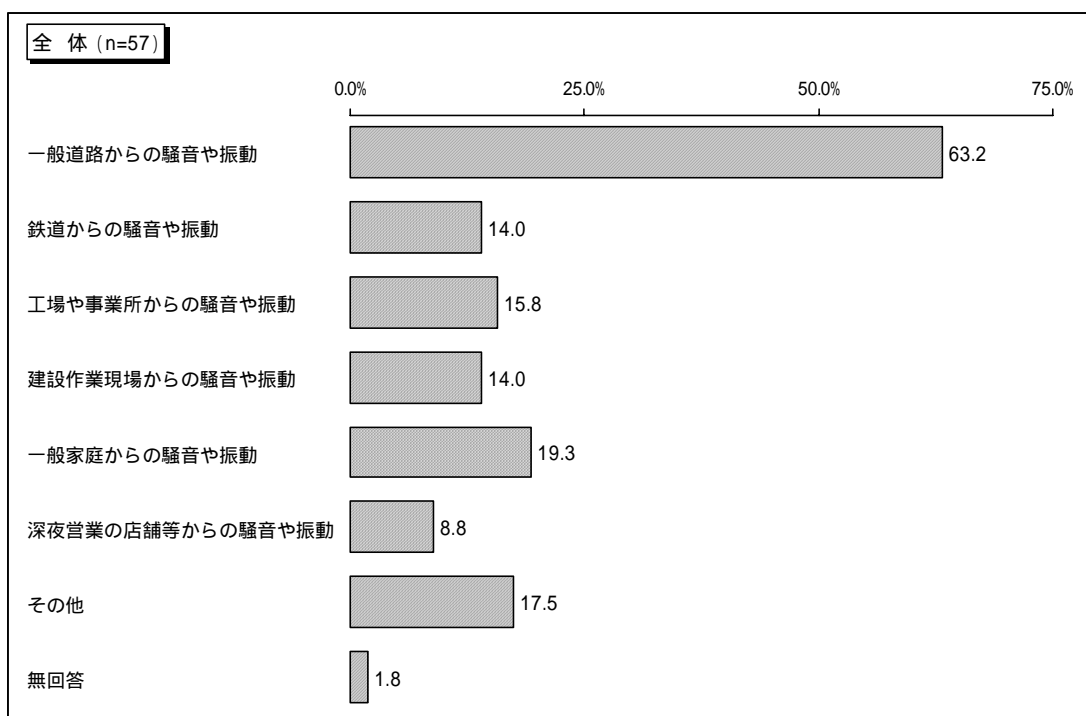


回答全体では、「満足」、「まあ満足」の割合が71.7%となっていますが、「不満」「やや不満」の内容は、「自動車等の排気ガスによる汚れ」、「稲わらやもみ焼きなどの煙やにおい」、「工場や事業所からの煙やにおい」との回答が多くなっています。これは居住域周辺の社会環境の影響を受けていることに起因していると思われます。

地区別では、五泉地区における「し尿・ごみ処理施設などからのにおい」、「工場や事業所からの煙やにおい」に対する不満度が若干高くなっています。

問9 問6の家の周りの静けさ、振動などで「不満」「やや不満」につけた方は、不満の原因と思われるものを3つまで選んでつけてください。

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 一般道路からの騒音や振動 | 5. 一般家庭からの騒音や振動 |
| 2. 鉄道からの騒音や振動 | 6. 深夜営業の店舗等からの騒音や振動 |
| 3. 工場や事業所からの騒音や振動 | 7. その他() |
| 4. 建設作業現場からの騒音や振動 | |

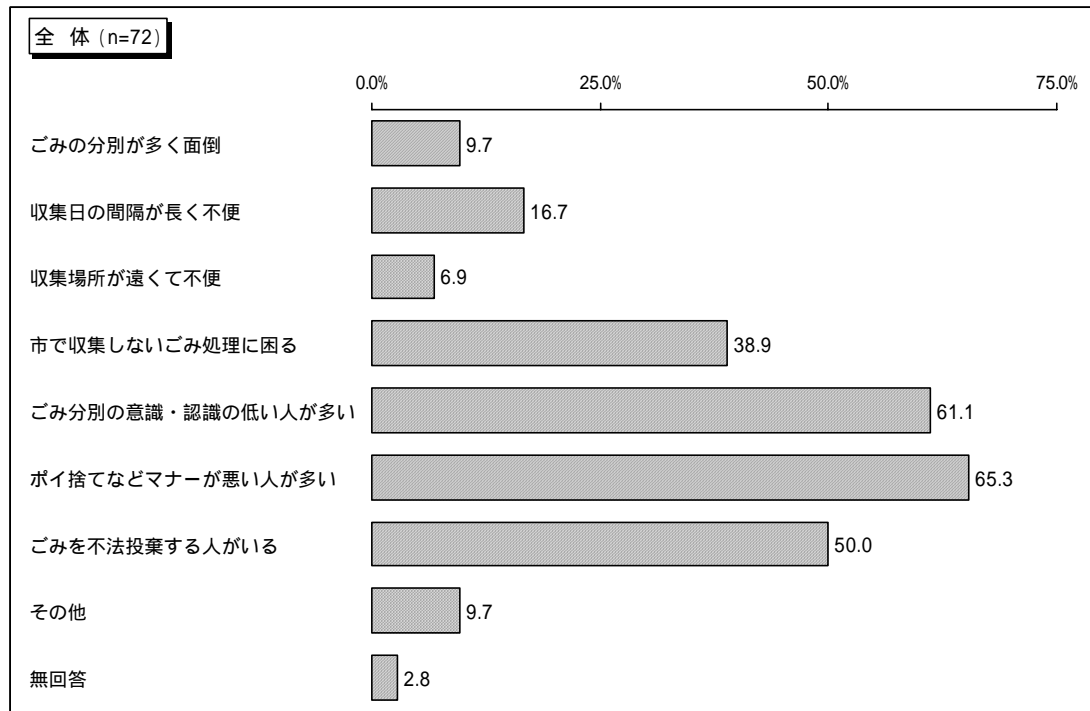


回答全体では、「不満」「やや不満」の割合が16.3%ですが、そのうち最も高い原因は、「一般道路からの騒音や振動」との回答が63.2%と多くなっています。これは、道路整備が進んだことにより、通行車両と交通量が増加したことに起因していると考えられます。

地区別で見ると、住宅密度の高い五泉地区と村松地区で「一般家庭からの騒音や振動」に対する不満度が高く、「深夜営業の店舗からの騒音や振動」については五泉地区のみ不満としてあげられました。

問 10 問6のごみ分別・収集・マナーなどで「不満」「やや不満」に つけた方は、不満の原因と思われるものを3つまで選んで つけてください。

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. ごみの分別が多く面倒 | 5. ごみ分別の意識・認識の低い人が多い |
| 2. 収集日の間隔が長く不便 | 6. ポイ捨てなどマナーが悪い人が多い |
| 3. 収集場所が遠くて不便 | 7. ごみを不法投棄する人がいる |
| 4. 市で収集しないごみ処理に困る | 8. その他 () |



回答全体では、「不満」「やや不満」の割合は20.6%ですが、ごみ分別・収集・マナーなどの不満の原因としては、「ポイ捨てなどマナーが悪い人が多い」(65.3%)、「ごみ分別の意識・認識の低い人が多い」(61.1%)、「ごみを不法投棄する人がいる」(50.0%)の順で回答が多くなっています。

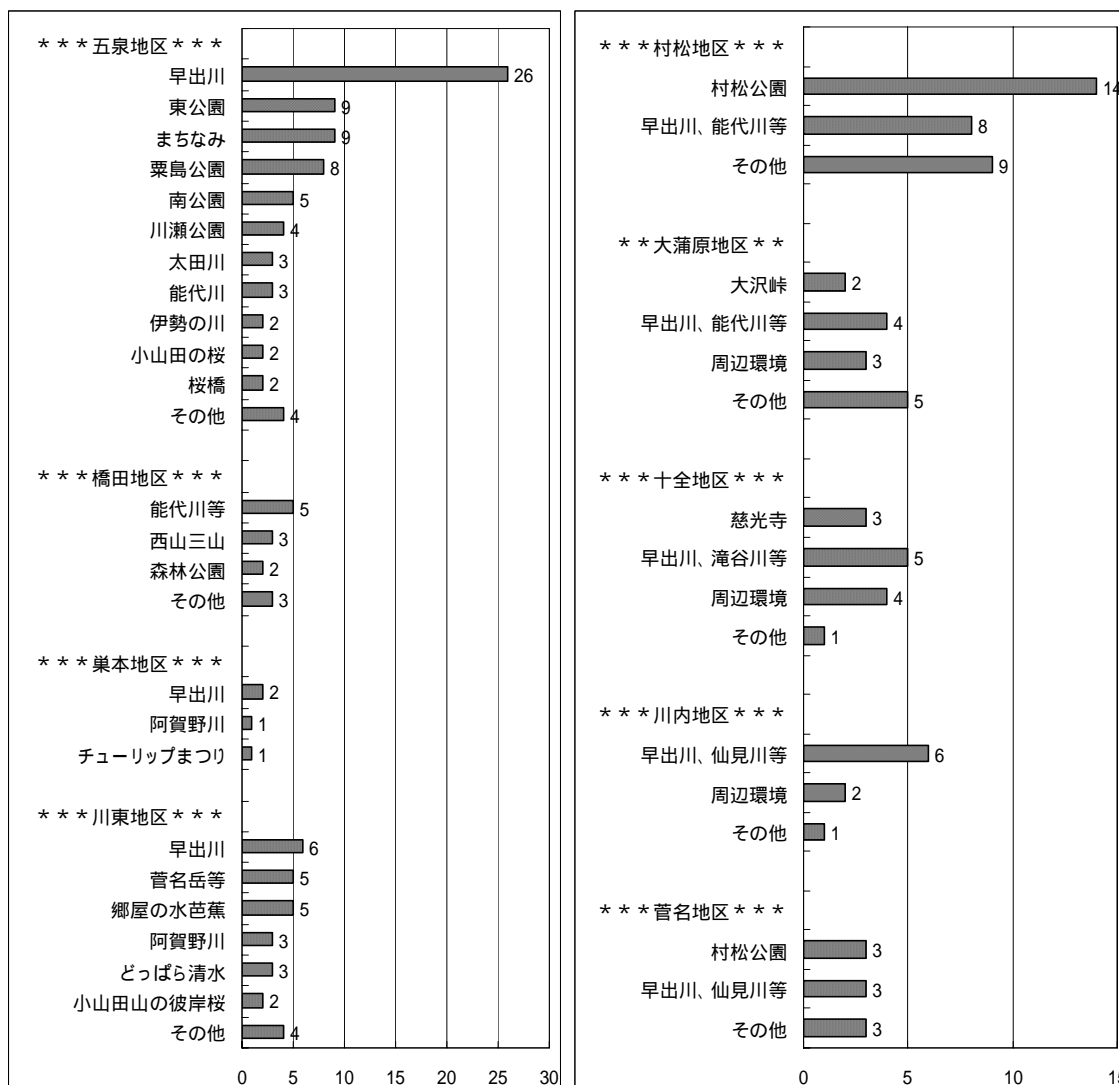
これらの事は、個人のマナー・モラルの低下、意識の欠如に起因する点が多く、五泉市のみの問題ではなく、各地で問題になっていると言えます。

性別では、「収集日の間隔が長く不便」、「市で収集しないごみ処理に困る」など、ごみの収集に関する設問については、家庭でのごみ処理を担当する人が多いと考えられる女性の関心が高く、不満度に反映されたものと思われます。これに対して、「ごみを不法投棄する人がいる」については、男性の不満度が高くなっています。

地区別に見ると、旧村松町において、「ごみの分別が多く面倒」との回答が多くなっています。これは合併に伴って、分別方法を旧五泉市の方式に統一したことによるものと考えられます。「ポイ捨てなどマナーが悪い人が多い」については、旧五泉市の不満度が高くなっています。

問 11 あなたがお住まいになっている地区（問4で答えた地区）と五泉市全域でそれぞれ「良い環境、後世に残したい環境」と「悪い環境、改善したい環境」は何ですか。それぞれ、その場所とその理由についてご記入ください。

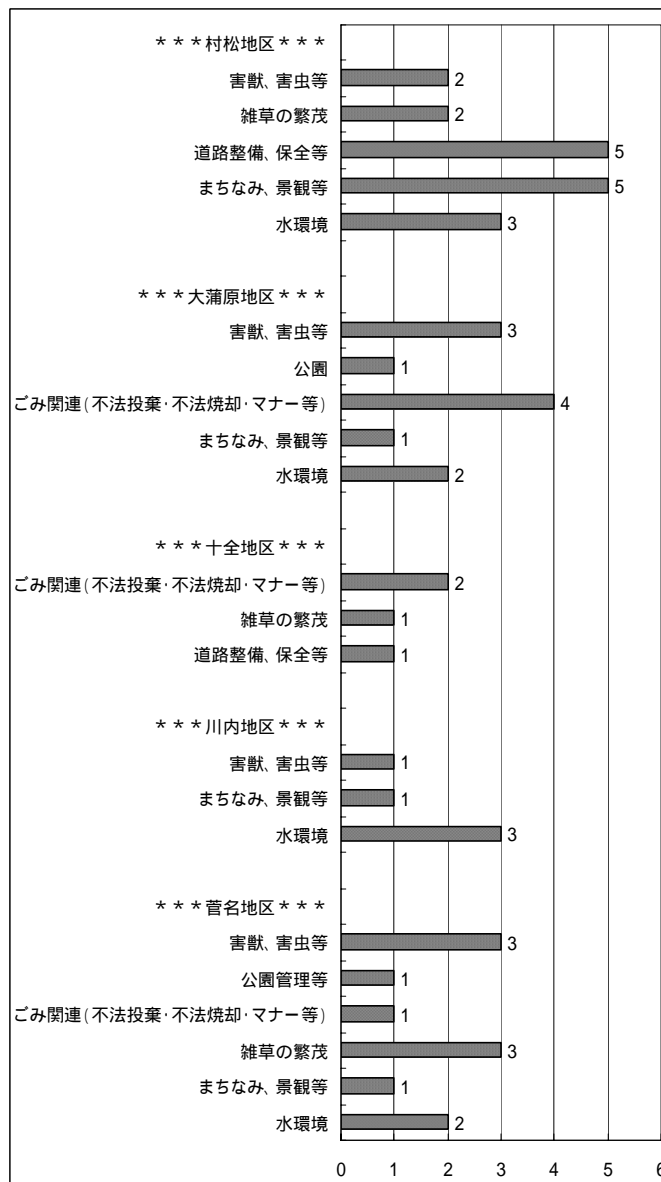
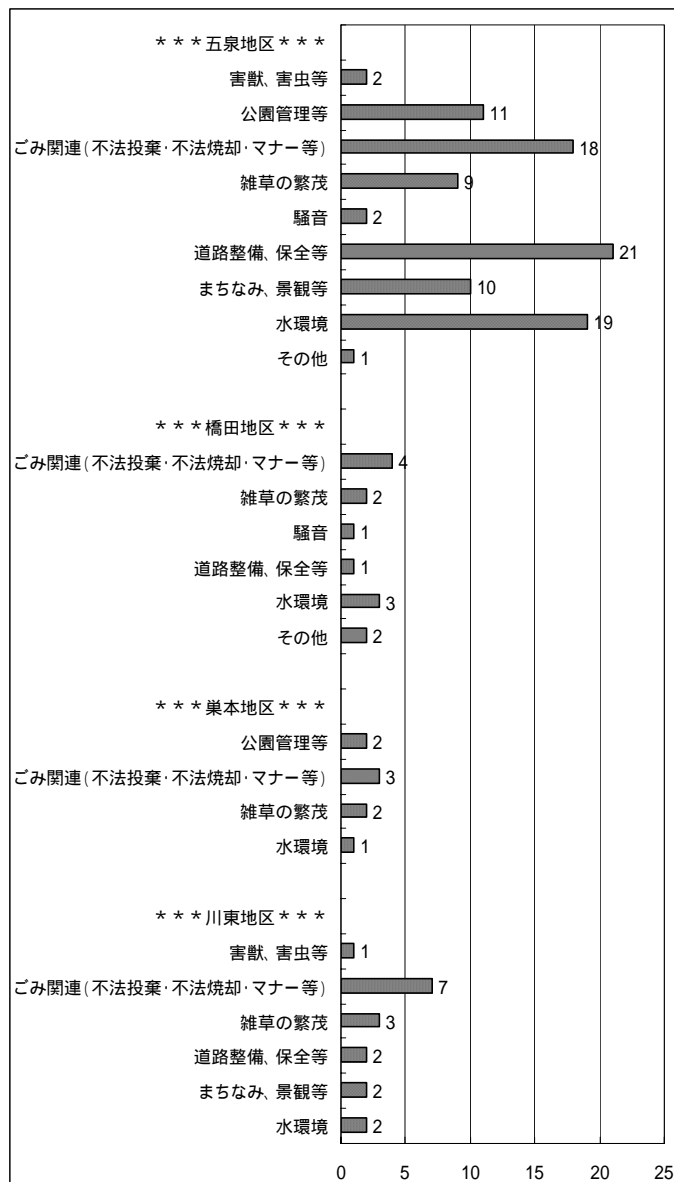
1. お住まいになっている地区の良い環境、後世に残したい環境



居住地区の「良い環境、後世に残したい環境」については、旧五泉市において、「早出川」や旧五泉市内にある「公園」との回答が多く、旧村松町において、「村松公園」の他、「早出川や仙見川等」の河川に関する回答も多くなっていることから、清流や花・緑の豊かな公園に対して好印象が強いことがうかがえます。

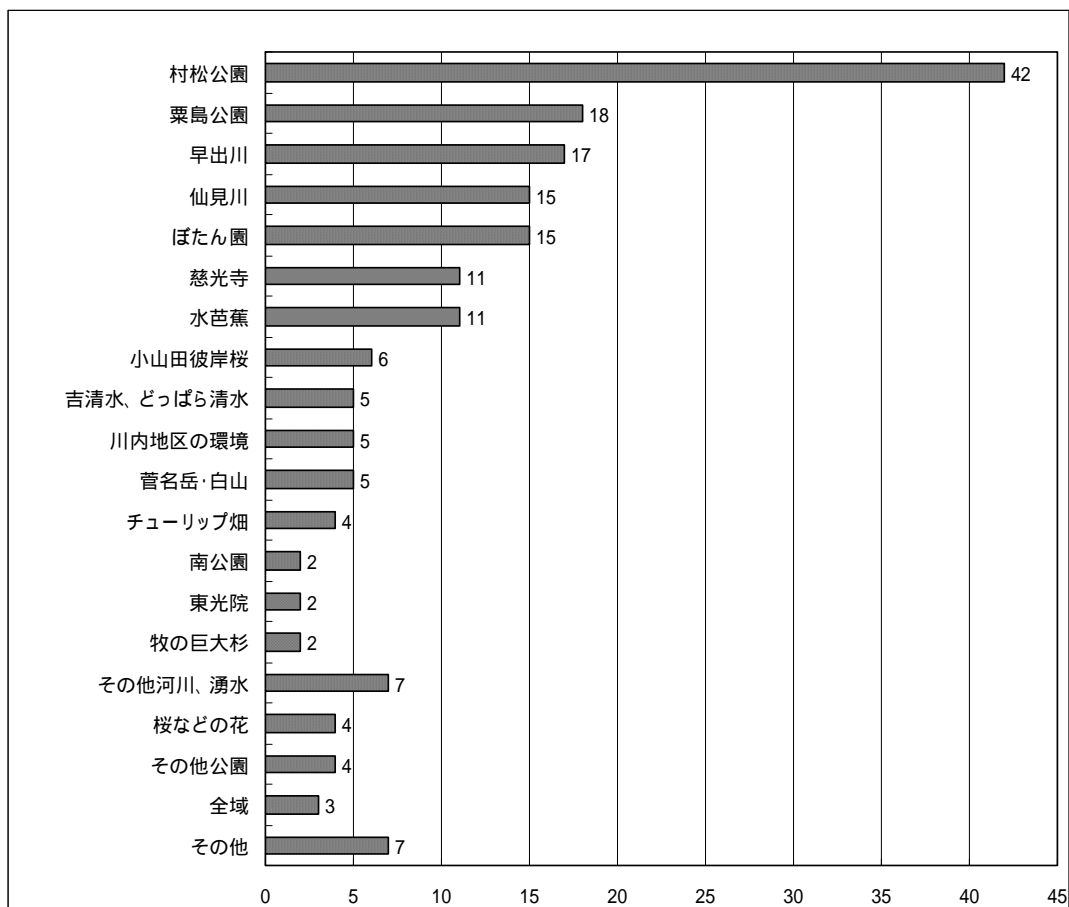
特に、「早出川」については、ほとんどの地区で「良い環境、後世に残したい環境」として挙げられています。

2. お住まいになっている地区の悪い環境、改善したい環境



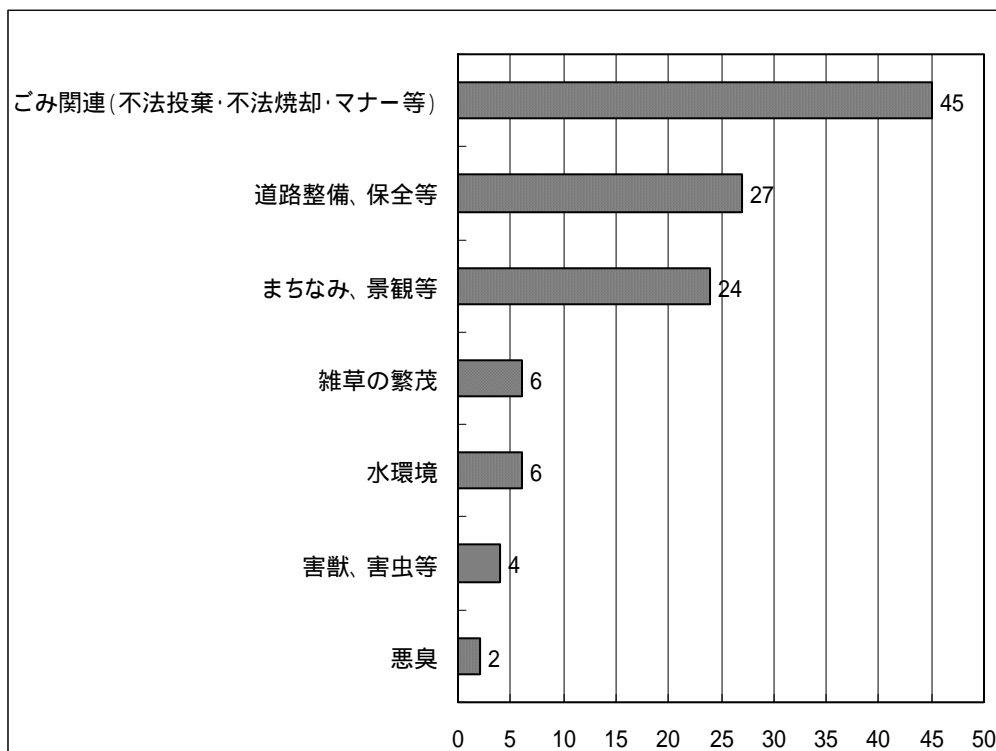
居住地区の「悪い環境、改善したい環境」については、ほとんどの地区で「ごみ関連(不法投棄・不法焼却・マナー等)」、「道路整備、保全等」、「雑草の繁茂」、「まちなみ、景観等」の回答が多くなっています。

3. 五泉市全域の良い環境、後世に残したい環境



五泉市全域の「良い環境、後世に残したい環境」については、「村松公園」との回答が最も多くなっています。また、「早出川」や「仙見川」、「吉清水、どっばら清水」の回答も多く、市民の「水環境」に関する関心・誇りの高さが伺われます。その他、“花のまち五泉”を象徴する数多くの花や緑を挙げている人もいます。

4. 五泉市全域の悪い環境、改善したい環境



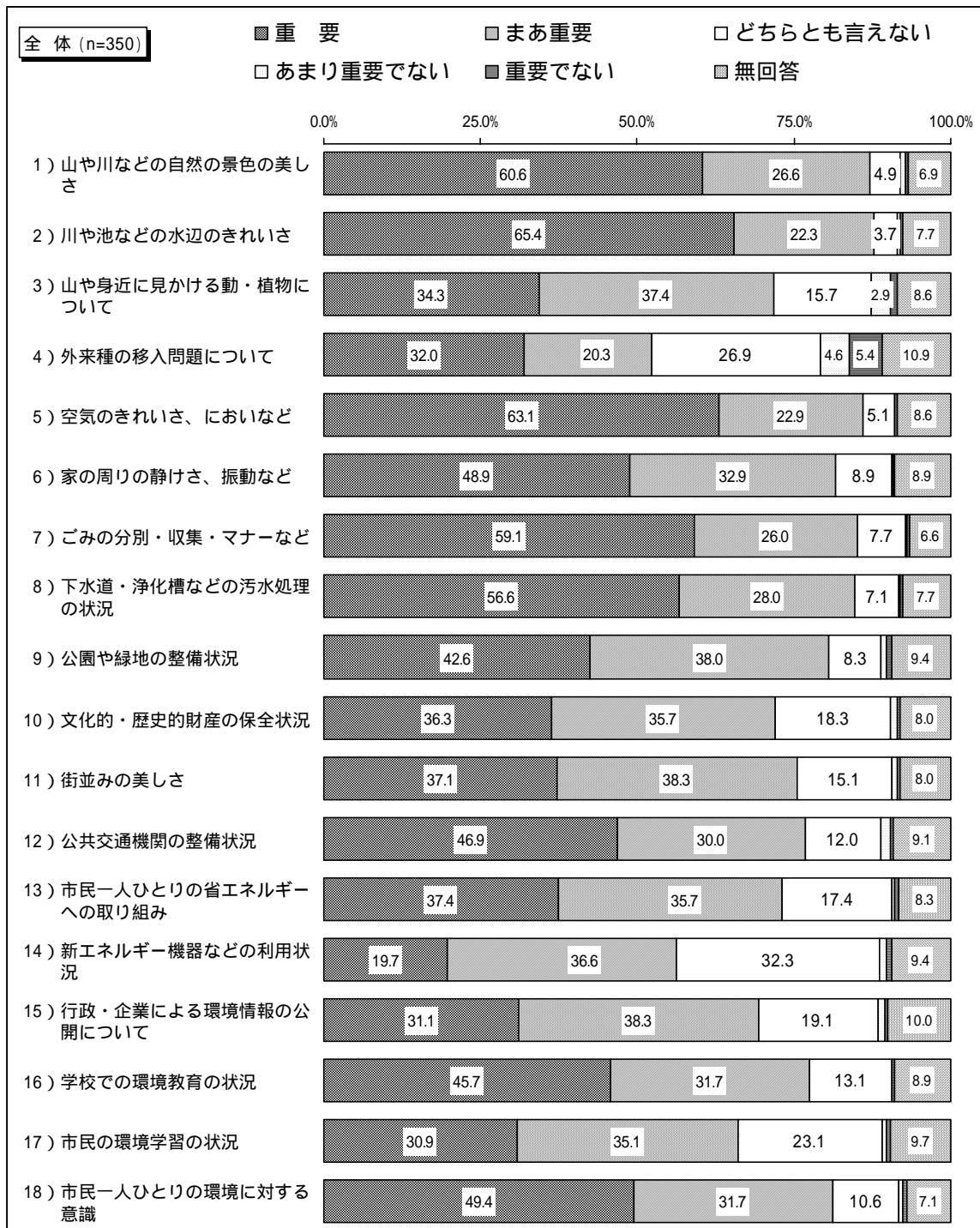
五泉市全域の「悪い環境、改善したい環境」については、「ごみ関連（不法投棄・不法焼却・マナー等）」の回答が最も多く、次いで、「道路整備、保全等」、「まちなみ、景観」の順となっています。

ごみ関連は、五泉市に限らず、全国的にも問題となっています。また、道路整備においては、旧五泉市、旧村松町とも各所に狭隘な道路が多く、特に村松地区では城下町特有の碁盤目状の入り組んだ道路形態となっていることから、車両の通行に支障が生じ、さらに市街地沿道環境の変化による歩行空間の悪化も回答に反映されたものと考えられます。

2. これからの環境についておたずねします。

問 12 将来のあなたの身の回りの環境について、重要性をどのように考えているか、あてはまるものを1つ選んでをつけてください。

	重要	まあ重要	どちらとも 言えない	あまり重要 でない	重要でない
1. 山や川などの自然の景色の美しさ	1	2	3	4	5
2. 川や池などの水辺のきれいさ	1	2	3	4	5
3. 山や身近に見かける動・植物について	1	2	3	4	5
4. 外来種の移入問題について	1	2	3	4	5
5. 空気のきれいさ、においなど	1	2	3	4	5
6. 家の周りの静けさ、振動など	1	2	3	4	5
7. ごみの分別・収集・マナーなど	1	2	3	4	5
8. 下水道・浄化槽などの汚水処理の状況	1	2	3	4	5
9. 公園や緑地の整備状況	1	2	3	4	5
10. 文化的・歴史的財産の保全状況	1	2	3	4	5
11. 街並みの美しさ	1	2	3	4	5
12. 公共交通機関の整備状況	1	2	3	4	5
13. 市民一人ひとりの省エネルギーへの取り組み	1	2	3	4	5
14. 新エネルギー機器などの利用状況	1	2	3	4	5
15. 行政・企業による環境情報の公開について	1	2	3	4	5
16. 学校での環境教育の状況	1	2	3	4	5
17. 市民の環境学習の状況	1	2	3	4	5
18. 市民一人ひとりの環境に対する意識	1	2	3	4	5



ここでは、自然・生活・社会・地球環境の区分を問6と同じ分類とします。

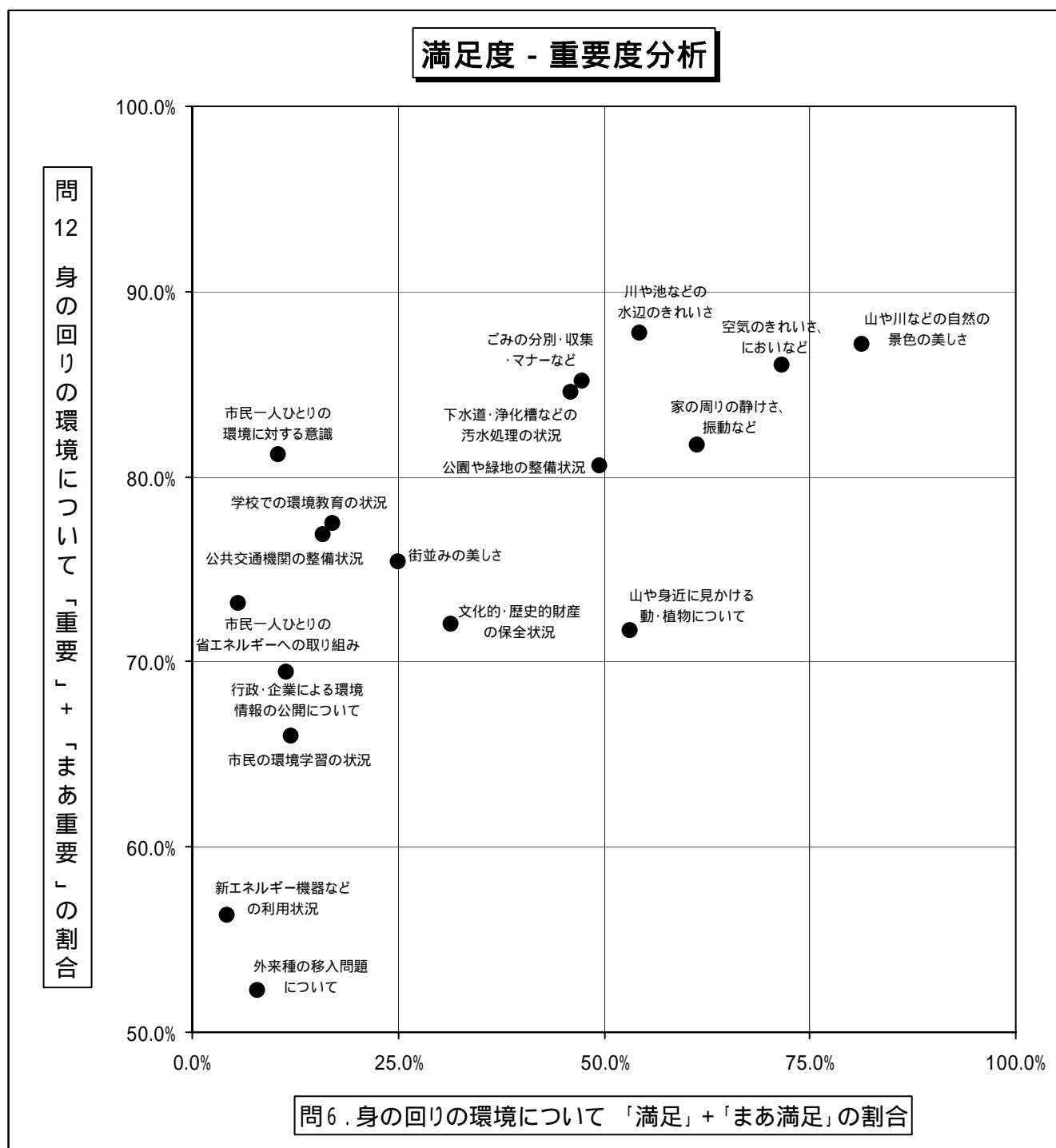
将来の身の回りの環境についての重要度に関して、回答全体では「重要」、「まあ重要」との回答の合計が「川や池などの水辺のきれいさ」(87.7%)、「山や川などの自然の景色の美しさ」(87.2%)、「空気のきれいさ、においなど」(86.0%)、「ごみの分別・収集・マナーなど」(85.1%)、「下水道・浄化槽などの汚水処理の状況」(84.6%)の順で多くなっています。全体的にどの項目についても関心度が高い中、特に、次の環境分野に区分した場合の自然環境や生活環境に対する関心度が非常に高いことがうかがえます。

年齢別では、「重要」、「まあ重要」との回答において、「山や川などの自然の景色の美しさ」、「川

や池などの水辺のきれいさ」において 20 歳代が高い割合（90%以上）で重要と答えている他、その他の設問についても他の年代と比べ、高い割合を示しております。これは育児やライフスタイルなど将来を見据えた考え方が現れているためとも考えられます。

地区別で見ると、自然環境では旧五泉市より旧村松町では自然が豊かであることから、旧村松市の方が重要度の点で若干高い回答が多くなっています。

また、身の回りの環境に関して、問 6 での満足度（「満足」と「まあ満足」を合わせた割合）と問 12 での重要度（「重要」と「まあ重要」を合わせた割合）との相関関係をまとめると、下図のようになります。



満足度 - 重要度関係を見ると、「山や川などの自然の景色の美しさ」、「空気のきれいさ、においなど」については、現状における満足度が高く、かつ重要であるとされていることから、現在の好ましい状態を今後も維持・増進していく必要性が示唆されているものと考えられます。

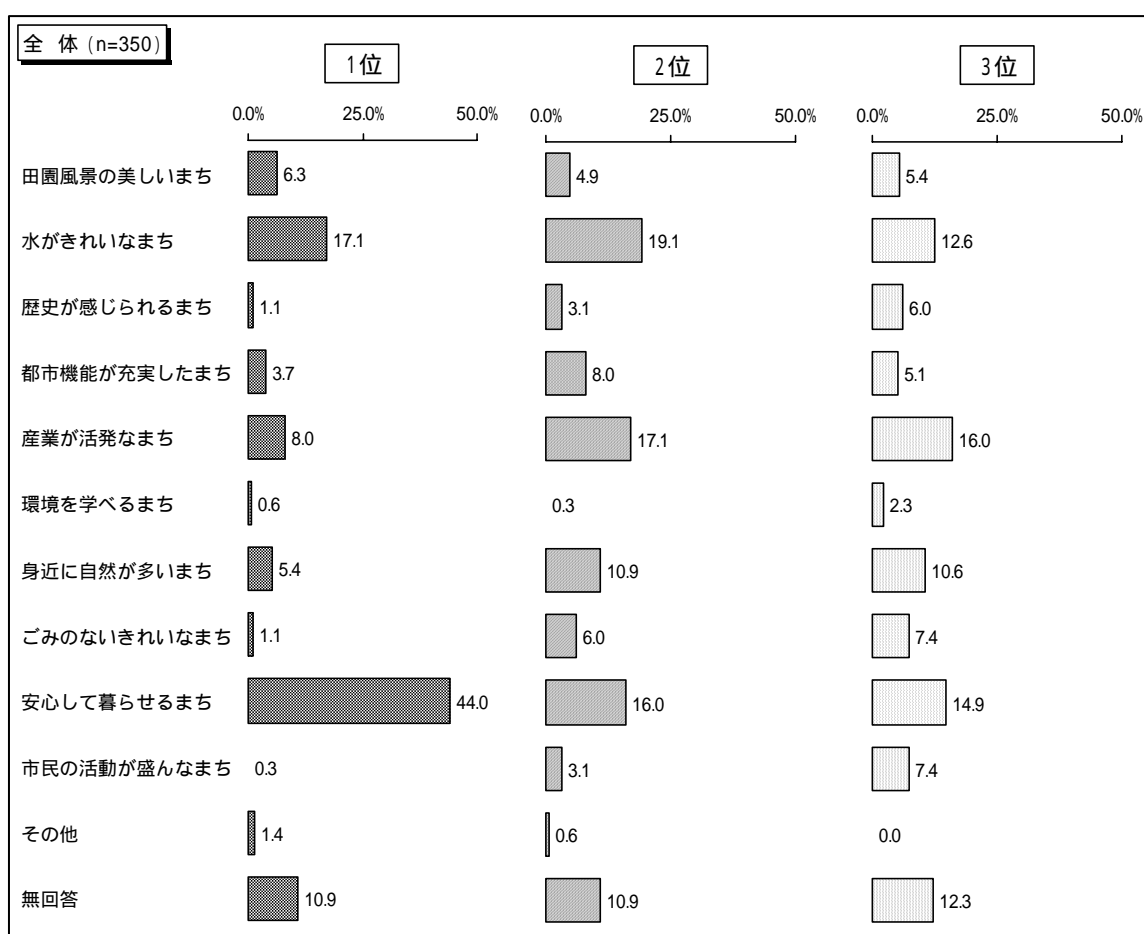
また、「市民一人ひとりの環境に対する意識」、「学校での環境教育の状況」については、現状の満足度が低い反面、重要であると認識されていることから、市民への環境意識の啓発・醸成や環境教育などを今後さらに推進していく必要があるものと考えられます。

「新エネルギー機器などの利用状況」、「外来種の移入問題」については、現状の満足度も重要性の認識も共に低くなっていますが、これは新エネルギーについては機器の導入自体がまだ少ないか、あるいはその効果が不明であったり、また外来種についても直接的な影響がわかりにくい点が反映している結果と考えられます。

問 13 あなたが考える五泉市の理想像はどのようなものですか。優先的に考えられるものを3つで選び、順位を付けて下の回答欄に番号を記入してください。

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 田園風景の美しいまち | 7. 身近に自然が多いまち |
| 2. 水がきれいなまち | 8. ごみのないきれいなまち |
| 3. 歴史が感じられるまち | 9. 安心して暮らせるまち |
| 4. 都市機能が充実したまち | 10. 市民の活動が盛んなまち |
| 5. 産業が活発なまち | 11. その他() |
| 6. 環境を学べるまち | |

1位		2位		3位	
----	--	----	--	----	--



回答全体では、「安心して暮らせるまち」(74.9%)が最も多く、次いで「水がきれいなまち」(48.9%)、「産業が活発なまち」(41.1%)の順となっています。この事は、環境面のみならず、防災や防犯も含めた安全・安心の充足が日々の暮らしの中で最も重要な条件であるという認識がうかがえます。そして、前出の回答結果より、五泉の地域特性として清流に対する満足度等との関連から、水質・水量ともに健全な水循環への関心の高さがうかがえます。また、「産業」については、かつての繊維産業興隆の経緯から、新たな時代にふさわしい形での産業振興への期待の現れとも考えられます。

性別では、「都市機能が充実したまち」について男性の割合が高く、「ごみのないきれいなまち」については主に女性の方が家庭でのごみの処理を行う機会が多いと考えられるため、高い割合になっています。

年齢別で見ると、「安心して暮らせるまち」に対する要望が、各年代を通じて高い割合を示しています。「水がきれいなまち」については20～40歳代で多く、50～70歳代で「産業が活発なまち」に高い割合が示されています。この点は、若い世代ほど早出川での水遊び等を通じて水と接する機会が多く、また高齢世代ほどかつての繊維産業興隆の記憶が反映しているものと考えられます。

地区別では、「歴史が感じられるまち」について、旧村松町では旧五泉市と比べ高い割合を示しています。これは、旧村松町のほうが慈光寺などの古い文化財や史跡が多く、また城下町としての景観やたたずまいを残していることによるものと考えられます。

職業別の大きな違いは見られないものの、会社員・公務員・団体職員とパート・アルバイトでは「安心して暮らせるまち」に対する要望が80%と高い割合を示しています。

3. 環境保全につながる取組についておたずねします。

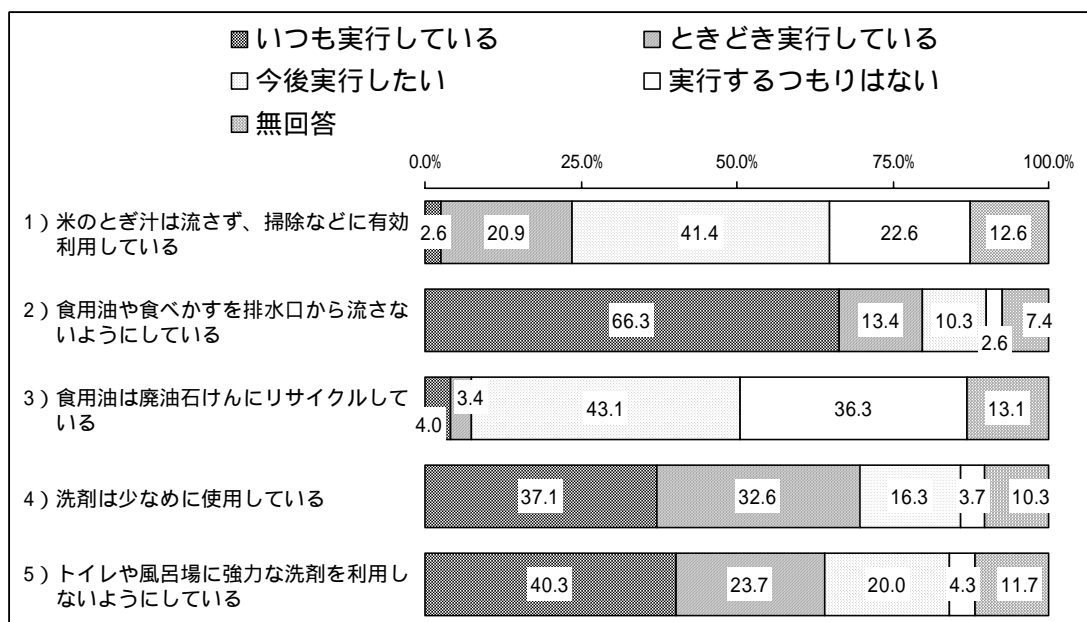
問 14 「水汚染の防止」、「大気汚染の防止」、「廃棄物の削減」、「有害物質の削減」、「地球温暖化防止・省エネ」につながる取組について、あなたが普段どの程度実行しておられるか、あてはまるものを1つ選んで をつけてください。

		ていつも実行している	てとぎどき実行している	今後実行したい	は実行するつもりはない
水汚染の防止	1. 米のとぎ汁は流さず、掃除などに有効利用している	1	2	3	4
	2. 食用油や食べかすを排水口から流さないようにしている	1	2	3	4
	3. 食用油は廃油石けんにリサイクルしている	1	2	3	4
	4. 洗剤は少なめに使用している	1	2	3	4
	5. トイレや風呂場に強力な洗剤を利用しないようにしている	1	2	3	4
大気汚染の防止	6. 車のアイドリングストップを行っている	1	2	3	4
	7. マイカー利用をさけて公共交通機関を利用している	1	2	3	4
	8. ディーゼルエンジンの自動車を使用しないようにしている	1	2	3	4
	9. 地場の農作物を購入するようにしている	1	2	3	4
廃棄物の削減	10. 家の庭や畑でごみを燃やさないようにしている	1	2	3	4
	11. 使い捨ての商品は購入しないようにしている	1	2	3	4
	12. 再生紙などのリサイクル商品を購入している	1	2	3	4
	13. 飲料容器やトレーをリサイクルに出している	1	2	3	4
	14. 買い物袋を持参してレジ袋は受け取らないようにしている	1	2	3	4
有害物質の削減	15. 生ごみは電気式処理機やコンポスト容器を使って処理している	1	2	3	4
	16. 塩化ビニール系のプラスチックを購入しないようにしている	1	2	3	4
	17. 除草剤や殺虫剤を使わないように気をつけている	1	2	3	4
	18. 車のバッテリーや電池類を適正に処置している	1	2	3	4
	19. 有機溶剤（シンナーやベンジン）を利用しないようにしている	1	2	3	4
地球温暖化の防止・省エネ	20. 有機農作物を選んで購入している	1	2	3	4
	21. 服装で調節して冷暖房の使用をできるだけ控えている	1	2	3	4
	22. 家電製品はなるべく省エネ型を購入するようにしている	1	2	3	4
	23. 風呂の残り湯を洗濯等に有効利用している	1	2	3	4
	24. 太陽熱温水器等クリーンエネルギー機器を導入している	1	2	3	4
	25. 電化製品のスイッチはこまめに消して節電に努めている	1	2	3	4

コンポスト容器

コンポスト容器とは、生ごみを微生物等の発酵・分解の働きにより、たい肥化させる容器のことを指します。

(1) 水汚染の防止

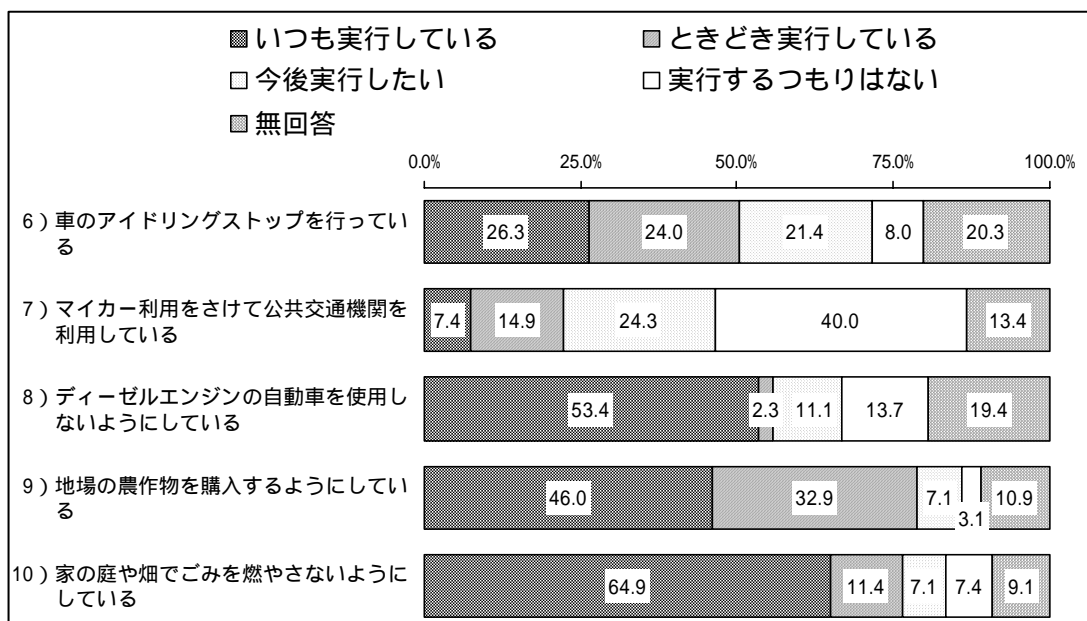


水汚染の防止について、回答全体では「いつも実行している」との回答に関して、「食用油や食べかすを排水口から流さないようにしている」が66.3%と最も多く、次いで「トイレや風呂場に強力な洗剤を利用しないようにしている」(40.3%)、「洗剤は少なめに使用している」(37.1%)の順となっており、水汚染の防止に対する意識は高いといえます。ただし、「食用油は廃油石けんにリサイクルしている」については、「実行するつもりはない」との回答が36.3%と多くなっており、意識は高いものの実行するための費用や労力の問題、あるいはその方法が分からないなどの理由で実行が難しい状況にあると考えられます。

年齢別では、どの回答項目に対しても「いつも実行している」との回答が20~30歳代で少なく、習慣化されていないことがうかがえます。これに対して、60~70歳代で「米のとぎ汁は流さず、掃除などに有効利用している」、「食用油は廃油石けんにリサイクルしている」、「使い捨ての商品は購入しないようにしている」、「再生紙などのリサイクル商品を購入している」、「飲料容器やトレーをリサイクルに出している」、「有機農作物を選んで購入している」の設問に対して「いつも・ときどき実行している」との回答が若干多くなっており、高齢の人ほど“もったいない”意識が強く、安全や健康にも気をつけている様子がうかがえます。

職業別では、農林漁業で「洗剤は少なめに使用している」、「トイレや風呂場に強力な洗剤を使用しないようにしている」の設問に対して「いつも・ときどき実行している」との回答が若干多くなっています。また、自営業で「トイレや風呂場に強力な洗剤を使用しないようにしている」に対して「実行するつもりはない」との回答が多くなっている点は、飲食店などの衛生管理における指摘であると考えられます。主婦で「食用油や食べかすを排水口から流さないようにしている」に対して「いつも実行している」との回答が若干多くなっています。

(2) 大気汚染の防止



大気汚染の防止について、回答全体では「いつも実行している」との回答に関して、「家の庭や畑でごみを燃やさないようにしている」が 64.9%と最も多く、次いで「ディーゼルエンジンの自動車を使用しないようにしている」53.4%の順となっています。これらについては、ダイオキシン発生やCO₂増加による環境悪化が報道等を通じて周知され、意識が高まっているものと考えられます。

「マイカー利用をさけて公共交通機関を利用している」については、「実行するつもりはない」との回答が 40.0%と多く、公共交通機関の不備や、マイカーに依存した生活が原因と考えられます。

性別については、「車のアイドリングストップを行っている」、「ディーゼルエンジンの自動車を使用しないようにしている」、「地場の農作物を購入するようにしている」との回答において、女性の実行率が高くなっています。男性は「今後実行したい」、「実行するつもりはない」との回答が多くみられます。

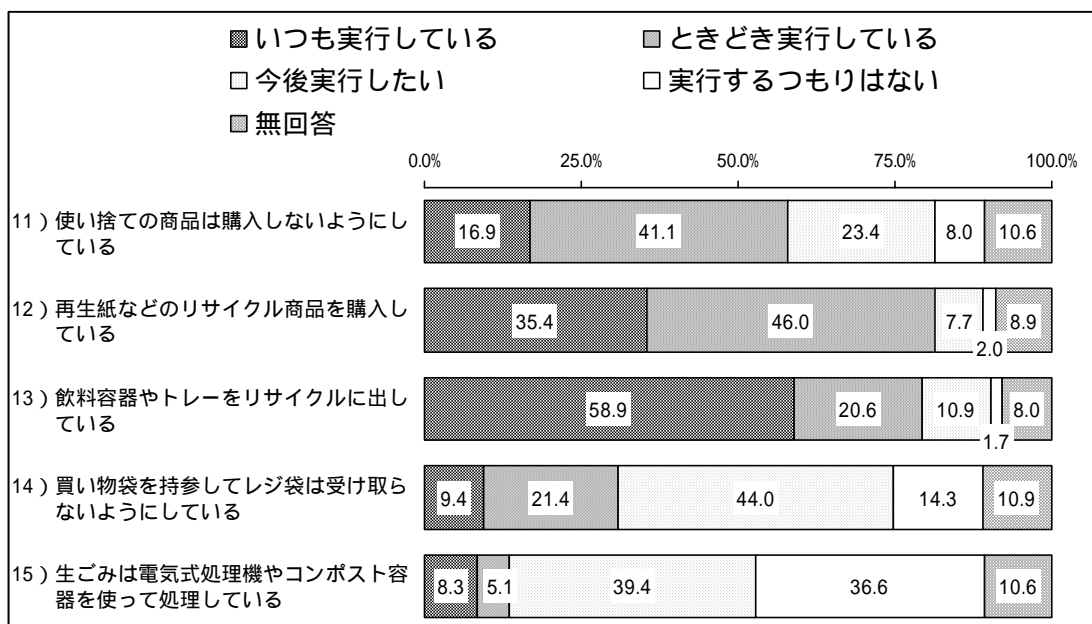
年齢別では「いつも実行している」、「ときどき実行している」との回答に関して、「地場の農作物を購入するようにしている」が、50歳代で多くなっているのに対し、20歳代では少なくなっています。また、「家の庭や畑でごみを燃やさないようにしている」については、70歳代で多くなっています。

地区別では、「地場の農作物を購入するようにしている」に対して、旧五泉市の方が「いつも実行している」との回答が多く見られました。

職業別では、会社員・公務員・団体職員で「ディーゼルエンジンの自動車を使用しないようにしている」について「いつも実行している」との回答が多くなっています。また、農林漁業で「車のアイド

リングストップを実行している」に対して「いつも・ときどき実行している」との回答が若干多くなっている一方、「家の庭や畑でゴミを燃やさないようにしている」を実行している割合が低くなっています。その他、「地場の農作物を購入するようにしている」に対して、自営業で「いつも実行している」との回答が多く、主婦においても若干多くなっていることから、地産地消が進んでいる様子がうかがえます。

(3) 廃棄物の削減



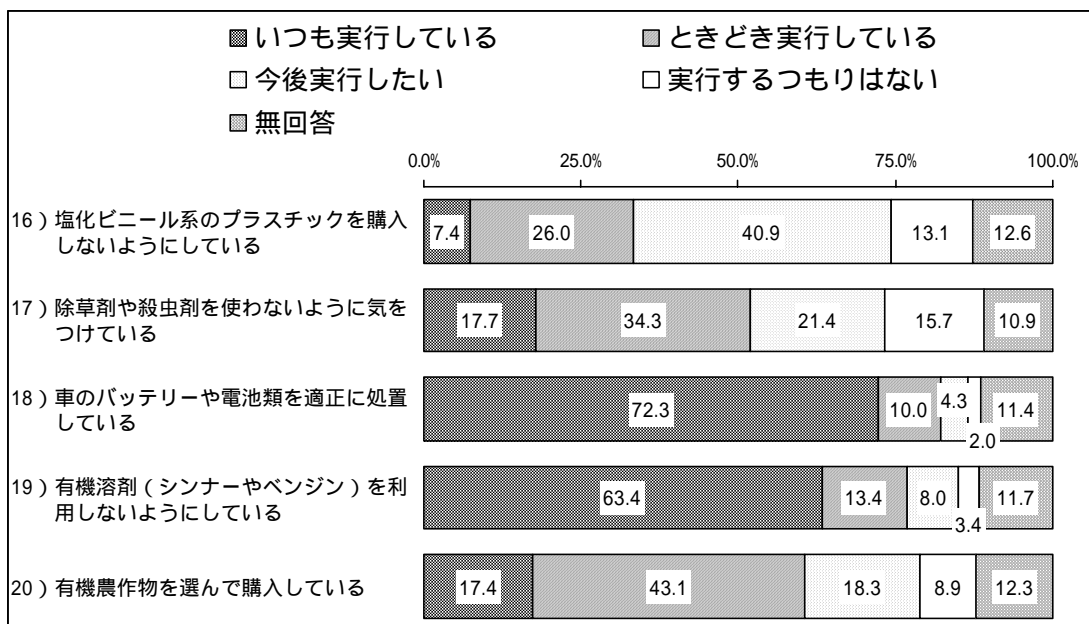
廃棄物の削減について、回答全体では「いつも実行している」との回答に関して、「飲料容器やトレーをリサイクルに出している」が 58.9%と最も多く、次いで「再生紙などのリサイクル商品を購入している」が 35.4%となっています。

「生ごみは電気処理機やコンポスト容器を使って処理している」については、「実行するつもりはない」との回答が 36.6%と多く、労力や費用の問題が考えられます。

年齢別では、「いつも実行している」との回答に関して、「飲料容器やトレーをリサイクルに出している」が 20 歳代で多く、「使い捨ての商品は購入しないようにしている」、「再生紙などのリサイクル商品を購入している」の両方で 40 歳代が少なくなっています。

職業別では、主婦とパート・アルバイトで「飲料容器やトレーをリサイクルに出している」について「いつも実行している」との回答が若干多くなっています。

(4) 有害物質の削減



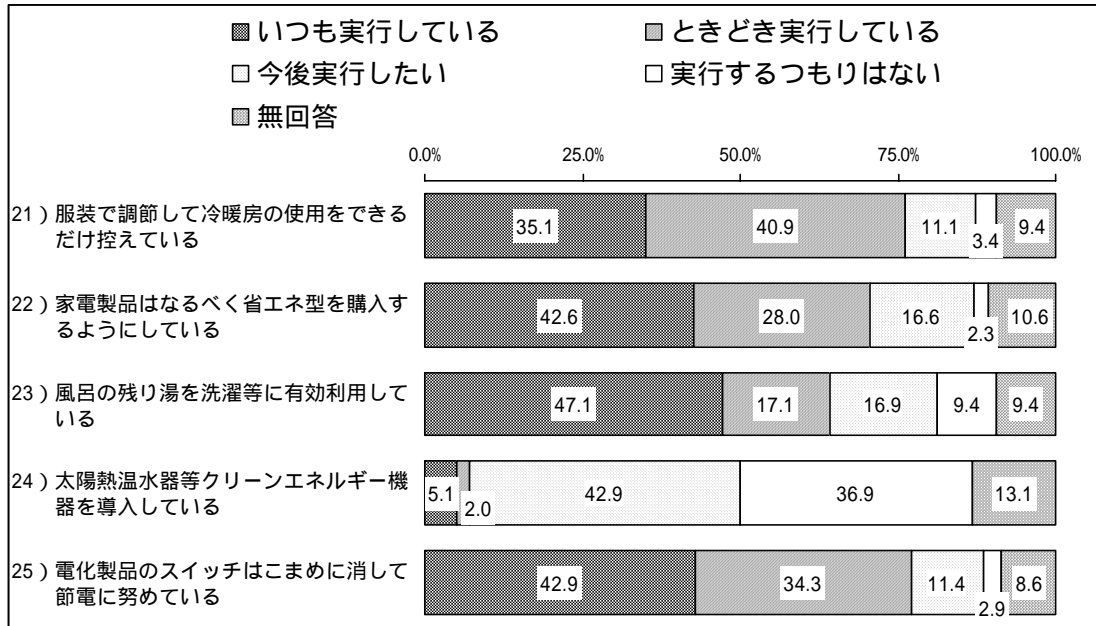
有害物質の削減について、回答全体では「いつも実行している」との回答に関して、「車のバッテリーや電池類を適正に処理している」が72.3%と最も多く、次いで「有機溶剤（シンナーやベンジン）を利用しないようにしている」が63.4%というように、強酸や引火性のある物質などの身近にある危険性の高い有害物質に対しては、特に注意をはらっている様子がうかがえます。

性別で見ると、「塩化ビニール系のプラスチックを購入しないようにしている」、「有機溶剤を利用しないようにしている」については、女性の方が比較的、積極的な回答となっています。

年齢別では、「いつも実行している」との回答に関して、「除草剤や殺虫剤を使わないように気をつけている」に対しては、20歳代で多くなっています。「車のバッテリーや電池類を適正に処理している」に対しては70歳代で、また「有機農作物を選んで購入している」に対しては30歳代で低い割合を示しています。

職業別では、農林漁業で「除草剤や殺虫剤を使わないように気をつけている」に対して「実行するつもりはない」との回答が多くなっている点は、農薬の使用がやむをえない面もありますが、今後環境保全型農業を推進していく上では課題であるといえます。

(5) 地球温暖化の防止・省エネ



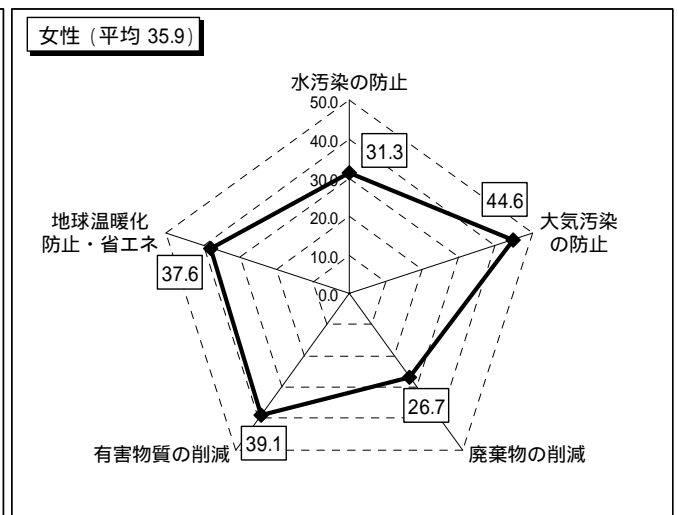
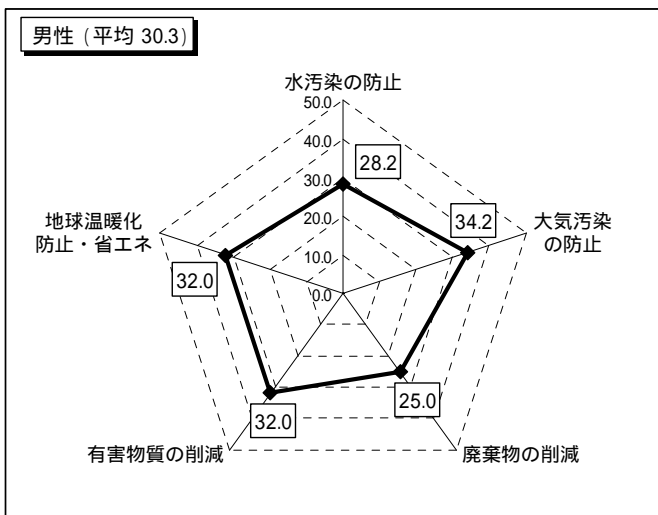
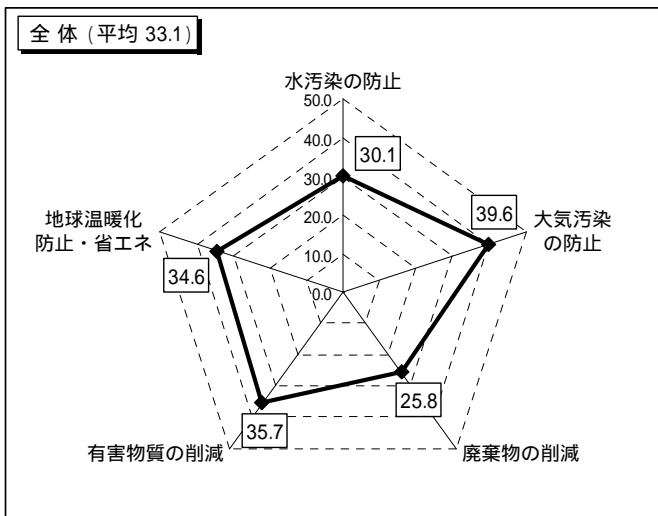
地球温暖化の防止・省エネについて、回答全体では「いつも実行している」との回答に関して、「風呂の残り湯を洗濯等に有効利用している」が47.1%と最も多く、次いで「電化製品のスイッチはこまめに消して節電に努めている」が42.9%、「家電製品はなるべく省エネ型を購入するようにしている」が42.6%となっています。一方、「太陽熱温水器等クリーンエネルギー機器を導入している」については、「実行するつもりはない」との回答が36.9%と多く、既往の技術でも不便や不自由を感じていないことや、費用対効果が明確に認識されていないこと等が原因と考えられます。

性別では、「いつも実行している」との回答に関して、「服装で調節して冷暖房の使用をできるだけ控えている」、「風呂の残り湯を洗濯等に有効利用している」において女性の割合が高く、「今後実行したい」との回答に関して、「太陽熱温水器等クリーンエネルギー機器を導入している」において男性の割合が高くなっています。

年齢別では、「いつも実行している」との回答に関して、「服装で調節して冷暖房の使用をできるだけ控えている」、「家電製品はなるべく省エネ型を購入するようにしている」の設問において20歳代の割合が高くなっています。最近、話題になっているクールビズやウォームビズへの関心や、省エネ型家電の購入意欲の高まりと言えるでしょう。「風呂の残り湯を洗濯等に有効利用している」の設問に対しては30歳代の割合が高くなっています。また、「今後実行したい」との回答に関しては、「太陽熱温水器等クリーンエネルギー機器を導入している」に対して40歳代の割合が高くなっています。

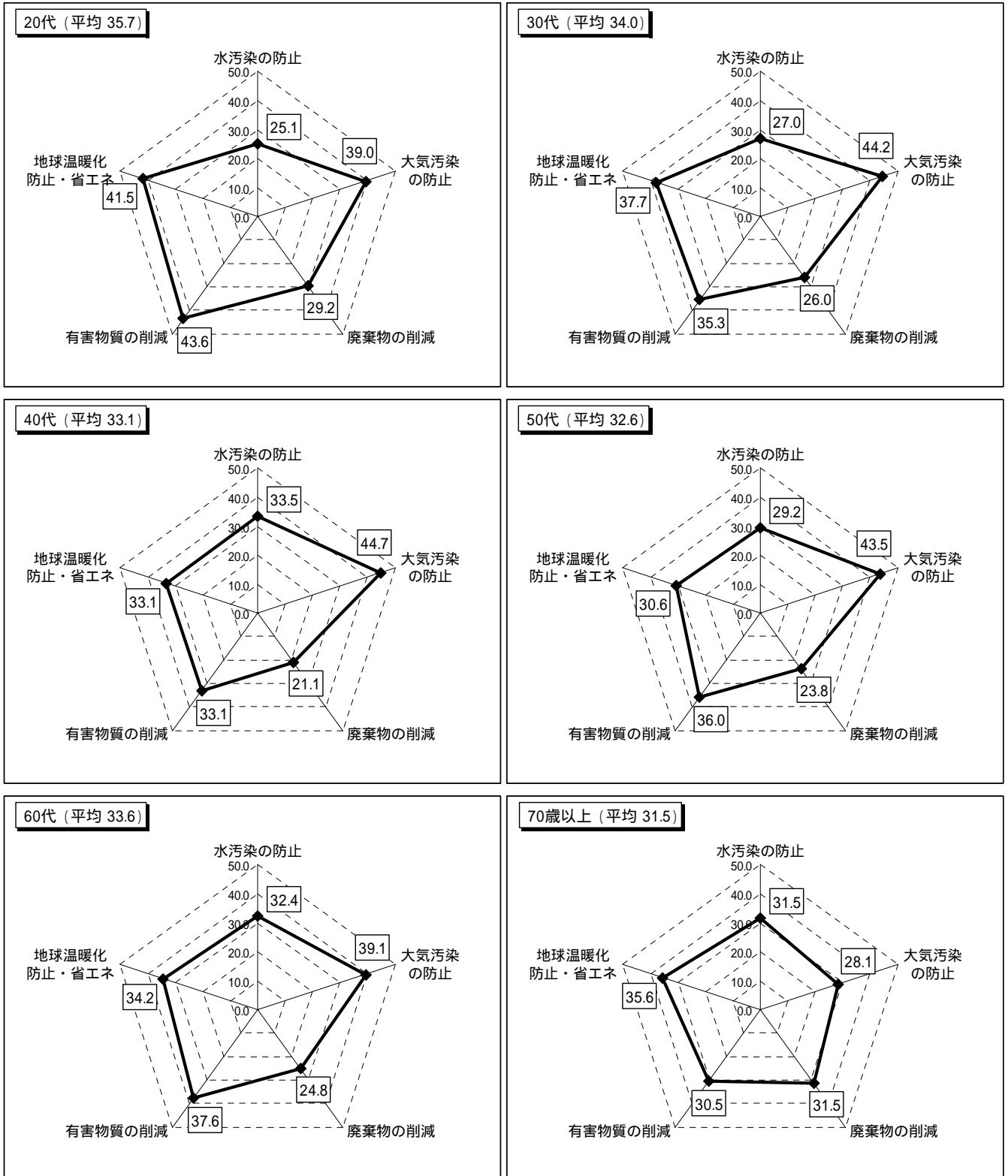
職業別では、農林漁業で「服装で調節して冷暖房の使用をできるだけ控えている」に対して「いつも実行している」との回答が若干多くなっています。

問 14 の設問の 5 つの大項目に関して、性別で比較したのが、下のグラフです。



男女とも「大気汚染の防止」に関して、他の項目と比較して積極的な取組が見られますが、全体的には女性の方が意識が高いと考えられます。

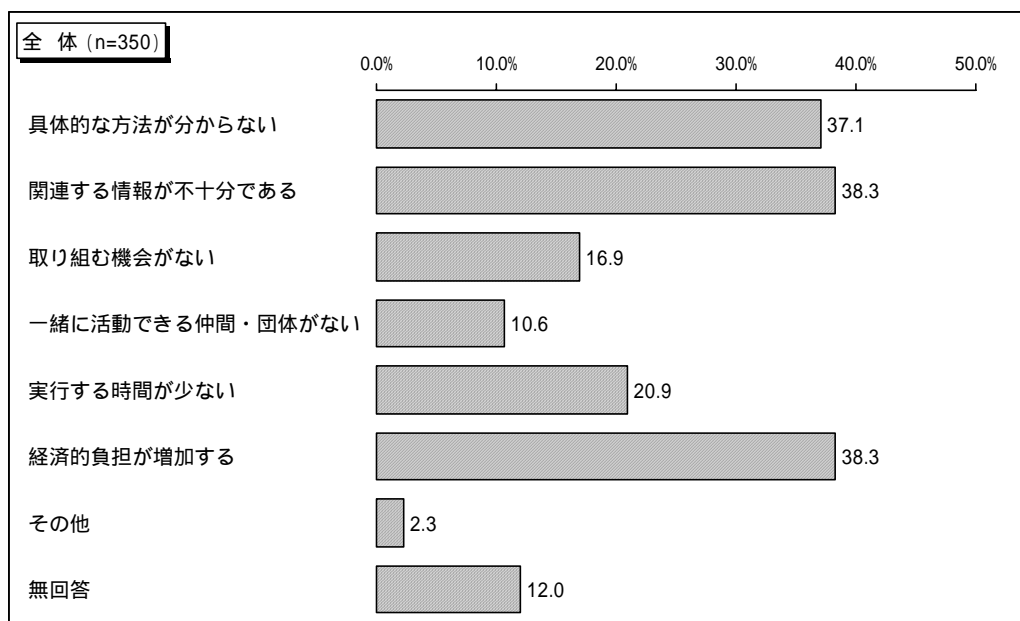
同様に、年齢別で比較したのが、下のグラフです。



「大気汚染の防止」に関しては、20～60歳代にかけて他の項目と比較して積極的な取組が見られます。
 「水汚染の防止」に関しては、年齢が高くなるに従って、意識が高くなる傾向がみられますが、特に、40歳代以上の年代で意識が高い傾向がうかがえます。

問 15 問 14 のような環境保全の取組を進める上で、問題となっていることは何ですか。あてはまるものを2つまで選んで をつけてください。

- | | |
|----------------------|---------------|
| 1. 具体的な方法が分からない | 5. 実行する時間が少ない |
| 2. 関連する情報が不十分である | 6. 経済的負担が増加する |
| 3. 取り組む機会がない | 7. その他() |
| 4. 一緒に活動できる仲間・団体がいない | |



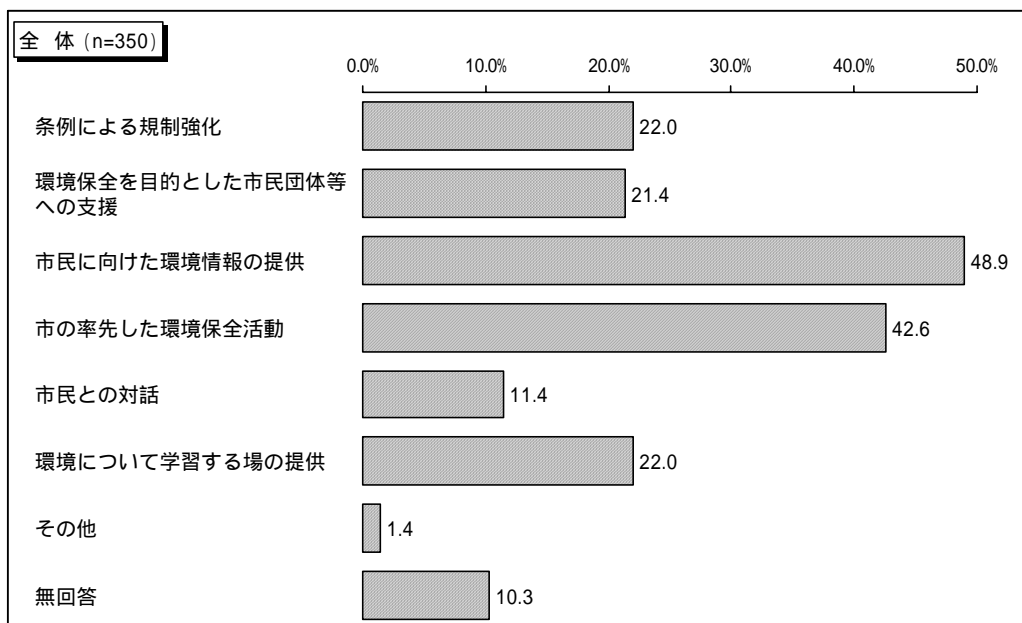
環境保全の取組を進める上での問題として、回答全体では「経済的負担が増加する」(38.3%)、「関連する情報が不十分である」(38.3%)、「具体的な方法が分からない」(37.1%)の順で多くなっています。環境保全の取組については関心が高く、重要性も認識しているものと思われませんが、具体的な方法や情報の伝達、機会の創出、取り組みやすさ、低コスト化などが今後の課題として考えられます。

年齢別では、「経済的負担が増加する」との割合が、20～30歳代で高く、年齢が高くなるとともに低くなる傾向が見られます。

職業別では、自営業で「関連する情報が不十分である」との回答が多く、会社員・公務員・団体職員で「経済的負担が増加する」が多くなっています。

問 16 あなたが環境保全のために、五泉市に望むことはどのようなものですか。あてはまるものを2つまで選んでをつけてください。

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1. 条例による規制強化 | 4. 市民との対話 |
| 2. 環境保全を目的とした市民団体等への支援 | 5. 環境について学習する場の提供 |
| 3. 市民に向けた環境情報の提供 | 6. その他() |
| 4. 市の率先した環境保全活動 | |



環境保全のために五泉市に望むことについて、回答全体では「市民に向けた環境情報の提供」との回答が 48.9%と最も多く、次いで「市の率先した環境保全活動」との回答が 42.6%となっています。

年齢別では、40歳代で「市の率先した環境保全活動」との回答が若干多くなっています。

問 17 あなたが環境保全のために事業者(事業者)に望むことはどのようなものですか。あてはまるものを 3つまで選んで をつけてください。

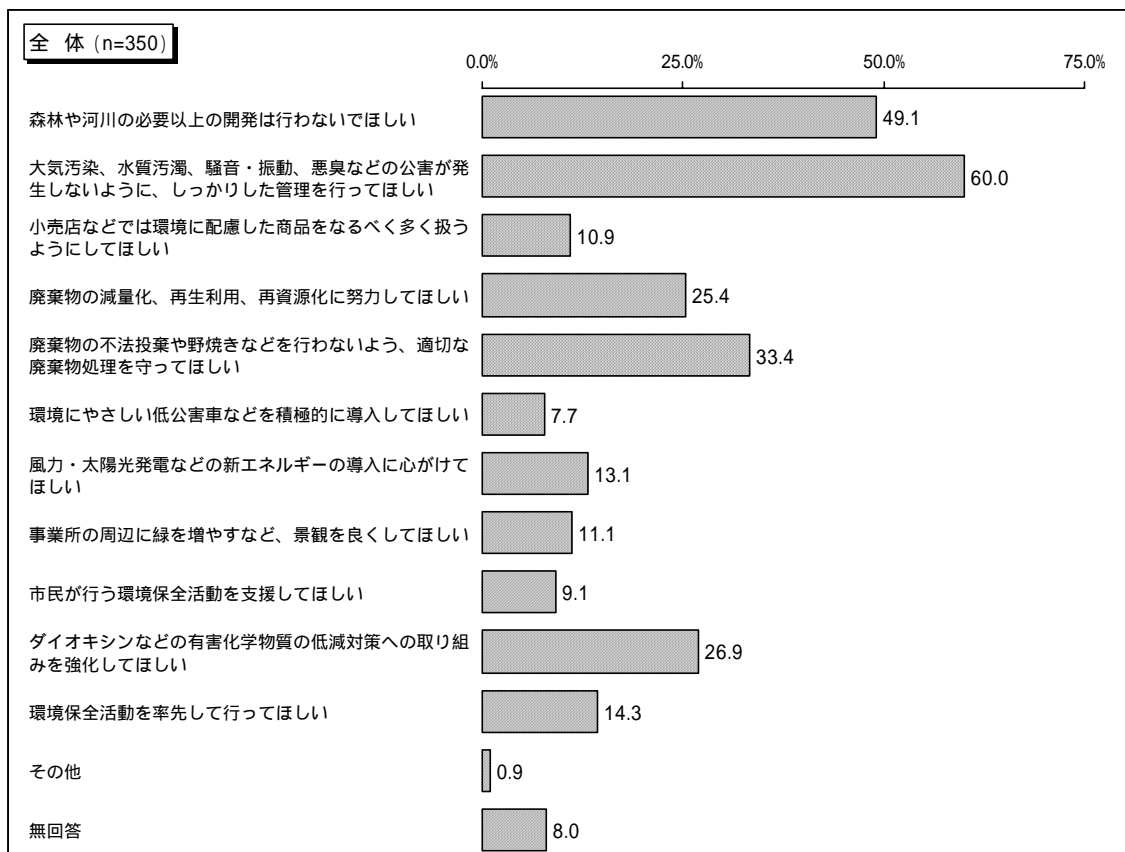
1. 森林や河川の必要以上の開発は行わないでほしい
2. 大気汚染、水質汚濁、騒音・振動、悪臭などの公害が発生しないように、しっかりした管理を行ってほしい
3. 小売店などでは環境に配慮した商品をなるべく多く扱うようにしてほしい
4. 廃棄物の減量化、再生利用、再資源化に努力してほしい
5. 廃棄物の不法投棄や野焼きなどを行わないよう、適切な廃棄物処理を守ってほしい
6. 環境にやさしい低公害車などを積極的に導入してほしい
7. 風力・太陽光発電などの新エネルギーの導入に心がけてほしい
8. 事業所の周辺に緑を増やすなど、景観を良くしてほしい
9. 市民が行う環境保全活動を支援してほしい
10. ダイオキシンなどの有害化学物質の低減対策への取り組みを強化してほしい
11. 環境保全活動を率先して行ってほしい
12. その他 ()

低公害車

排ガス中の汚染物質や燃料消費量が少ない電気・メタノール・天然ガス・ハイブリッド自動車などを指します。

ダイオキシン

塩化ビニール製品などを低い温度(約800以下)で燃やすと発生する物質で、人間が一度体内に取り込んだら排出されにくく、生殖機能や免疫機能に影響を及ぼし発ガン性があるとも言われています。



「環境保全のために事業者に望むこと」について、回答全体では「大気汚染、水質汚濁、騒音・振動、悪臭などの公害が発生しないように、しっかりした管理を行ってほしい」との回答が60.0%と最も多く、次いで五泉市の重要な資源としての認識から「森林や河川の必要以上の開発は行わないでほしい」との回答が49.1%と多くなっています。

性別では、「小売店などでは環境に配慮した商品をなるべく多く扱うようにしてほしい」との設問では女性の回答率が高くなっています。これは、小売店などでの買物は女性が行う場合が多く、店頭やメディアなどで様々な情報を通じて、環境配慮の意識が高く、環境配慮商品についての知識も多く持っているためと考えられます。

年齢別では、20歳代において、「環境にやさしい低公害車などを積極的に導入してほしい」、「風力・太陽光発電などの新エネルギーの導入に心がけてほしい」との回答割合が高く、これは若い世代ほど新しい環境技術に対する関心が高いことの現れであると考えられます。

職業別では、主婦で「小売店などでは環境に配慮した商品をなるべく多く扱うようにしてほしい」との回答が多くなっています。

4. 環境保全に関する活動についておたずねします。

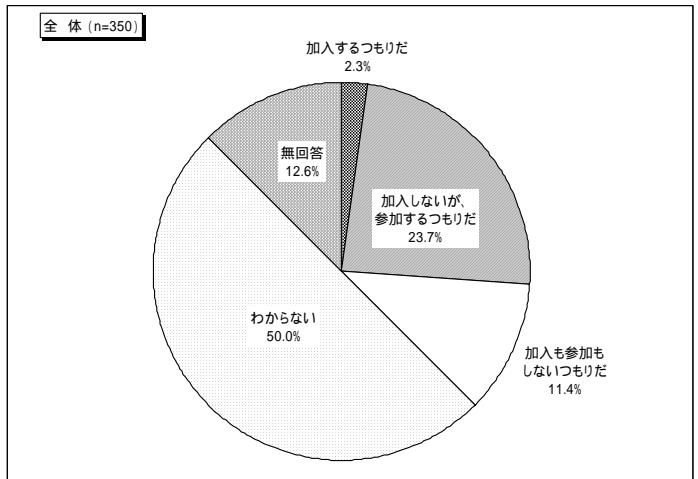
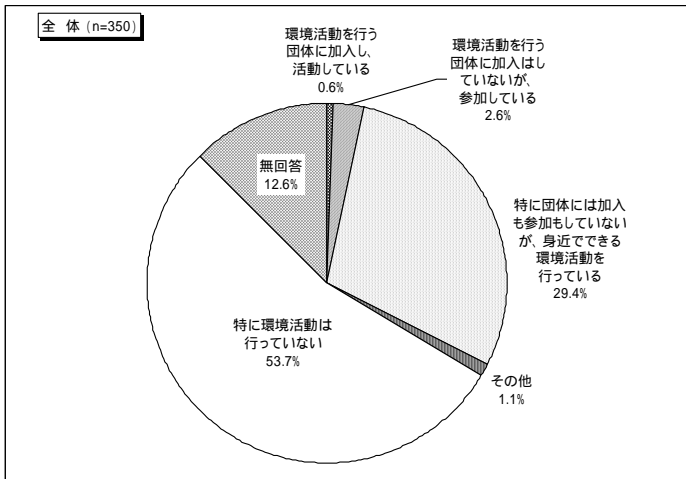
問 18 あなたは五泉市の環境を良くするために、環境団体に加入・参加していますか。また、今後環境団体に加入・参加するつもりはありますか。それぞれ1つ選んでをつけてください。

現在どのような環境団体に加入・参加していますか

1. 環境活動を行う団体に加入し、活動している
2. 環境活動を行う団体に加入はしていないが、参加している
3. 特に団体には加入も参加もしていないが、身近でできる環境活動を行っている
4. その他 ()
5. 特に環境活動は行っていない

今後、環境団体に加入・参加するつもりはありますか

1. 加入するつもりだ
2. 加入しないが、参加するつもりだ
3. 加入も参加もしないつもりだ
4. わからない



回答全体では、何らかの活動に参加、あるいは身近な活動を行っている市民は約 30%強に達していますが、実際に団体に加入している市民は、0.6%程度です。

「特に環境活動は行っていない」との回答が 53.7%と最も多く、また、今後については「加入も参加もしないつもりだ」、「わからない」との回答が 61.4%と多いことから、関心の誘発や機会創出の促進などが課題としてあげられます。

年齢別では、「加入しないが、参加するつもりだ」について、60 歳代が高い割合となっていますが、20 歳代は低い回答となっています。また、「加入も参加もしないつもりだ」については 30 歳代が高い割合となっています。

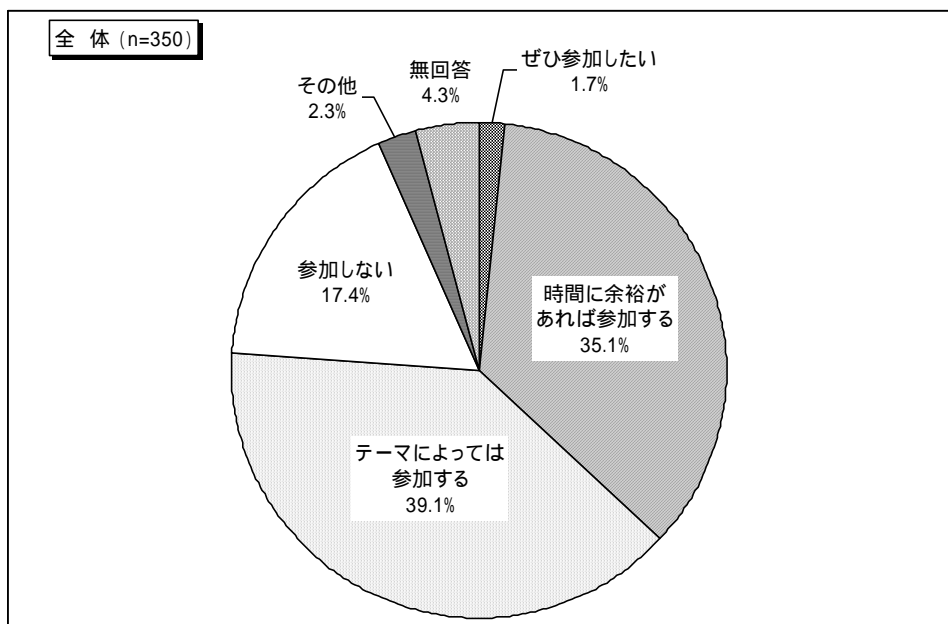
職業別では、農林漁業で「加入しないが、参加するつもりだ」との回答が若干多くなっています。

年齢別では、「水質、大気、騒音・振動などの調査・評価方法」、「廃棄物対策（適正処理、再生利用、再資源化）」、「地球温暖化やオゾン層の破壊・酸性雨などの地球環境問題と対策」の設問について20～30歳代の関心が高く、「省エネルギー、新エネルギーの取組事例」については50歳代の関心が高くなっています。

職業別では、会社員・公務員・団体職員で「ISO14001やエコアクション21などの環境マネジメント」への関心が若干高くなっています。

問 20 今後、五泉市において環境に関する学習会などを開催した場合、参加される意思はありますか。あてはまるものに**1つ選んで** を付けて下さい。

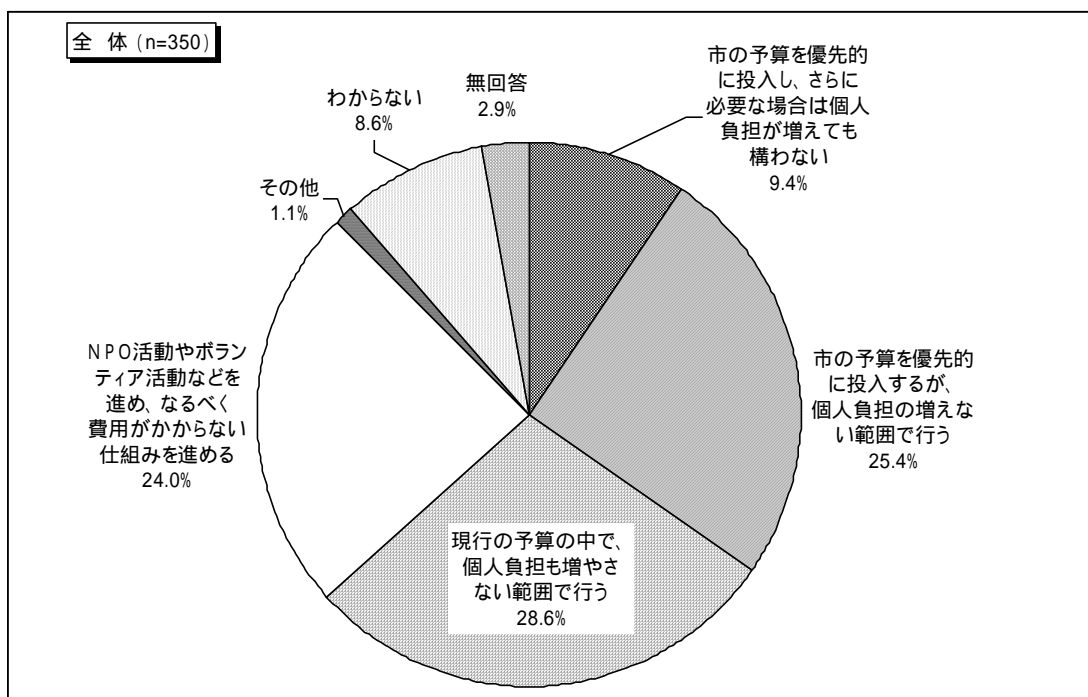
1. ぜひ参加したい
2. 時間に余裕があれば参加する
3. テーマによっては参加する
4. 参加しない
5. その他()



環境に関する学習会などを開催した場合の参加意思について、回答全体では「テーマによっては参加する」との回答が 39.1%と最も多く、次いで「時間に余裕があれば参加する」が 35.1%と多くなっており、合わせて約7割強の市民が何らかの形で参加したいとの意向を示しています。

問 21 あなたは環境保全のための費用についてどのようにお考えですか。あてはまるものを1つ選んで をつけてお答えください。

1. 市の予算を優先的に投入し、さらに必要な場合は個人負担が増えても構わない
2. 市の予算を優先的に投入するが、個人負担の増えない範囲で行う
3. 現行の予算の中で、個人負担も増やさない範囲で行う
4. NPO活動やボランティア活動などを進め、なるべく費用がかからない仕組みを進める
5. その他 ()
6. わからない

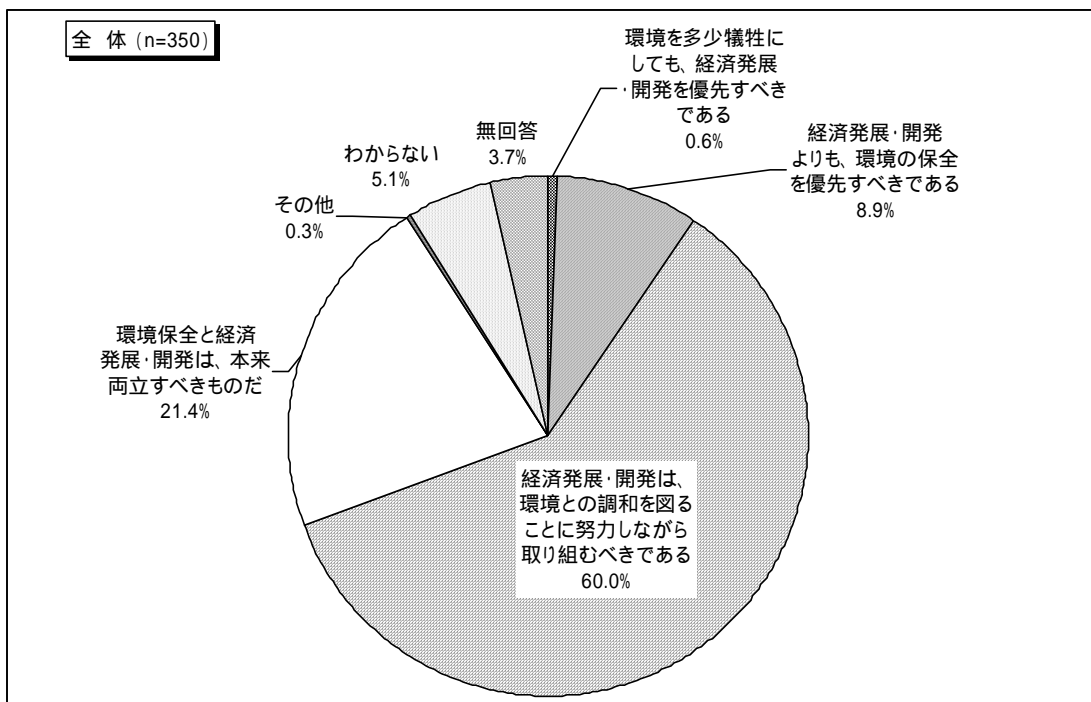


環境保全のための費用について、回答全体では「現行の予算の中で、個人負担も増やさない範囲で行う」(28.6%)、「市の予算を優先的に投入するが、個人負担の増えない範囲で行う」(25.4%)、「NPO活動やボランティア活動などを進め、なるべく費用がかからない仕組みを進める」(24.0%)の順で多くなっています。また、費用については、個人負担を増やさない範囲で行うことを望ましいとする回答が概ね多くなっています。

年齢別では、20～40歳代において「市の予算を優先的に投入するが、個人負担の増えない範囲で行う」、「現行の予算の中で、個人負担も増やさない範囲で行う」、「NPO活動やボランティア活動などを進め、なるべく費用がかからない仕組みを進める」という、個人負担を増やさない方向性を望む回答が多くみられます。

問 22 あなたは、環境を保全することと、経済発展や開発との関係について、どのようにお考えですか。あてはまるものを1つ選んで をつけてください。

- 1 . 環境を多少犠牲にしても、経済発展・開発を優先すべきである
- 2 . 経済発展・開発よりも、環境の保全を優先すべきである
- 3 . 経済発展・開発は、環境との調和を図ることに努力しながら取り組むべきである
- 4 . 環境保全と経済発展・開発は、本来両立すべきものだ
- 5 . その他 ()
- 6 . わからない



環境を保全することと、経済発展や開発との関係について、回答全体では「経済発展・開発は、環境との調和を図ることに努力しながら取り組むべきである」との回答が 60.0%と最も多く、次いで、「環境保全と経済発展・開発は、本来両立すべきものだ」との回答が 21.4%となっています。このように、経済の発展と環境保全のバランスを考えて行うべきとの回答が高くなっています。

年齢別では、20歳代で「環境保全と経済発展・開発は、本来両立すべきものだ」の割合が 35.9%と若干高くなっています。

問23 環境問題全般について、ご意見・ご要望などがありましたらご記入ください。

[お寄せ頂いた意見や要望について、12の項目で分類しました。]

道路整備、公共交通の整備

現在公共交通機関（バス、電車）が不十分であり、マイカー利用が増加している（必要である）ため、充実してもらいたい。（五泉地区，女性，30～39歳）

五泉市の県道の拡張の意見ですが、県の財政、市の財政が赤字で困っているのになにも無理をして道路を広くする必要はないと思う。道路が便利になればなるほど新潟中心、三条中心の大型店へ五泉の人達が流出するおそれは絶対ある。振動が辛い家などは、道路だけをきっちり直し、部分的に対処していった方が永年商売をやった場所で営業できるわけだからスムーズに行くと思う。サラリーマンは新しい場所、新しい家が手に入るわけだからいいかもしれないが、商店としては本当に死活問題です。（五泉地区，性別不明，70～79歳）

上下水道の整備

上下水道の整備と料金値下げ、五泉は水源が重要だと思うが、あまり利用していない気がする。（五泉地区，女性，30～39歳）

生活排水の問題で下水道の普及に力を注ぐべき。・ゴミの焼却の廃熱の再利用や、生ゴミの家庭処理機器等の普及促進に力を注ぐべき。市民が気安く廃用品再利用可能品を持ち込めるセンターの設置（川東地区，男性，40～49歳）

水環境・水質対策

水の都を大体的にうたうのであれば、今の五泉はとてもはずかしいと思います。村松地区より流れる清流があるのですから河川を整備し誰もが憩える場が出来るのなら他市からの観光客も増え、もっと活気のある街が出来るのではないのでしょうか。せっかくの清流があるのですから、その水を大切にすることが五泉の発展に結びついていくのではないのでしょうか。（五泉地区，性別不明，50～59歳）

毎年五、六月に下水の泥上げがありますが、町内全員が行うわけでもなく、その理由の一つとしてコンクリートのふたが重すぎ、年々老齢化していく人々にとってはかなりの重労働でもあるようです。何とかふたの部分の軽量化を考えて貰いたいものです。（五泉地区，性別不明，70～79歳）

河川の清掃（巢本地区，男性，40～49歳）

あまりU字構の工事をしないでほしい。自然を残してほしい、御願います。（川東地区，男性，30～39歳）

五泉、村松地区は川の水がとてもきれいなので、これを大切に守ってほしいです。家庭からは洗剤に気をつけて害の少ない水を流すことを心がけます。（村松地区，女性，40～49歳）

まちづくり、景観づくり、農村環境・生態環境づくり

分散型の小規模の公園は作らない。見かけ倒しの公園は作らない。(川瀬の様に地下水も流水も無駄な事、意味が分からぬ)東公園同様将来に残る公園(憩いの場)作りを計画的に進める。道路計画が遅れ、居住家屋造成のため道路(判読不能)の一貫性のない準備に不要な出費が必要となる。従って、下水道の導入が遅れ、簡易処理になっている。流す場所もないのに許可している。新発田市を参考にさせたい。(五泉地区,男性,70~79歳)

里いも、レンコンの他にも、きれいな水でわさびを作ったり、ニット産業よりも農業を活動しながらエコロジーを体験できる場をつくったらいかがでしょうか?(五泉地区,女性,40~49歳)

空き地の管理、特にジャスコを何とかしてください。(五泉地区,女性,60~69歳)

本町通りの空地・元ジャスコの空家の対策、非常に多いこと(五泉地区,女性,60~69歳)

川を何とかしてもらいたい。汚すぎる。街全体のユニバーサルデザイン化も早急に実施してほしい。(川東地区,男性,20~29歳)

市民の憩いの場を多く作ってほしい(老人等対象)。若者対象 スポーツが大いにできる設備(川東地区,女性,50~59歳)

子どもたちが外で遊びたくなるような自然環境であってほしい。(川東地区,女性,60~69歳)

問11の「悪い環境、改善したい環境」は特にありませんので未記ですが、例えば公園の整備等は今のままで充分ですが、今後も管理等に、心くばりお願いします。(菅名地区,男性,60~69歳)

自宅の街路樹下の雑草の手入れと落葉の仕事と仔犬のフンの仕事(五泉地区,男性,70~79歳)

用水路の雑草がひどく自分の家の前は自分で除草剤を撒いていますが、除草剤も去年より金額が高くなりましたので、道路と用水路の間をきちんとコンクリートかアスファルトでしっかりしてほしいです。(五泉地区,女性,60~69歳)

害獣対策

佐取地区で森林伐採してから猿が川東地区の畑を荒らすようになったと聞く。テレビでも猿の害は深刻だと言っているので五泉市にも早く対処すべきはしてほしい。(川東地区,女性,20~29歳)

道路際に犬の糞があちこちに落ちている。猫の糞に困っている。野良猫が増えて困っている。(川東地区,女性,60~69歳)

動植物の保護が良すぎるのかわからないが、動物が人間生活に害を与えているので保護しないで処分したほうがよい。例えばカラス、たぬき等(十全地区,男性,50~59歳)

今困っていること カラス、 のら猫の数が非常に多い(菅名地区,女性,60~69歳)

ゴミ・不法投棄対策、リサイクルの推進、野焼き対策、意識・モラルの高揚、教育の向上

ゴミの分別は、年配者より若い人の方が関心が高く、実行しているように思います。個人的には環境問題への関心はそれほど高くありませんが、自分のできる範囲で実行していくことが大切だと思います。(五泉地区, 男性, 40~49歳)

家庭から出るゴミは、町内単位で、ゴミ箱を作るのではなく、市で設置してほしい。まだ設置していない場所が多すぎる(大至急)(五泉地区, 男性, 60~69歳)

ゴミ、フンの街五泉、一人一人が不法投棄をしない事(五泉地区, 男性, 60~69歳)

五泉市はゴミの分別が大まか過ぎるので、他の町の状況なども参考にして小まめなゴミ収集をした方が良くと思う。(五泉地区, 女性, 40~49歳)

まず家庭から、家でゴミを燃やさない、川にゴミをすてない。缶、ペットボトルのポイ捨て(ゴミ全部)をしない。自然エネルギーを市として考えて開発してほしい。市で1日クリーン作戦として子供から大人まで町中をきれいにする日をもうける。(五泉地区, 女性, 40~49歳)

意識づけが大切、ゴミの分別の強化。ゴミを捨てないなどが大切と思う。(五泉地区, 女性, 40~49歳)

家のまわりの道路に、空き缶や吸殻などが、よく落ちている。もう少し、広報などで美しい街づくりをしようと呼びかけてもらいたい。マナーの悪い人が増えていると思います。また、長引く不景気で市全体が活気がありません。(五泉地区, 女性, 50~59歳)

道路や田んぼなどに空カンやゴミが多く投げてあります。歩く時はゴミ袋を持って拾って来る事です。きれいになった時は気持ちが良いですね。(五泉地区, 女性, 50~59歳)

スーパーでのパック化を減少してほしい。商品の箱づめなどの減少等全国全体で取り組むことがたくさんあると思います(五泉地区, 女性, 50~59歳)

身近なところでなるべくごみを出さないように努力する。(五泉地区, 女性, 50~59歳)

水と空気は絶対にかかせないものなので、家庭でのドラム缶や人目のつかない所での廃棄物不正投棄や焼いたりして空気の汚染を著しくしたり、ゴミや農薬類の化学物質等の適切な使用や捨て方をしないと、どんどん水も汚染されると思うので、水と空気をきれいに保つ様な取り組みを望むし、自分もやりたいと思う。(五泉地区, 女性, 50~59歳)

空缶回収等には参加している(橋田地区, 男性, 60~69歳)

里いもに使ったビニールを庭先で焼いている人がまだいます。小さい子供や年寄りが居る家では本当に困ります。近くでやっているとけむりより臭いで分かります。ぜひやめて下さい(トレーなんかもやくのかな?)(巢本地区, 男性, 60~69歳)

農業資材等、ゴミの不法投棄を止めさせることが私の一番身近な意見です。(高山の阿賀野川河川敷には高山以外の人も捨てに来るので)(巢本地区, 性別不明, 50~59歳)

(下水、排水構の整備)不法投棄等を見た場合。(雨水のたれ流し)注意するか、担当の役所へ連絡する程度(川東地区, 男性, 70~79歳)

よいことをするには費用がかかる。何でも行政にまかせるのではなく、受益者負担を導入するよう誘発する必要がある。一例としてゴミ処理に有料な袋を使う。住民は指示した袋(有料)を使うなど身近なものから実践するようにしていって下さい。(村松地区, 男性, 70~79歳)

なるべく再生紙のトイレトーパーを使用するようにしています。原油高もあってのこと。(大蒲原地区, 男性, 20~29歳)

不法投棄などは定期的に見廻って下さい。産廃の不法投棄焼却(数10トン)特に土、日、休日に行う取締りを強化して貰いたい。特に春、秋に多い。(大蒲原地区, 性別不明, 70~79歳)

前出の間にも書きましたが、今までやって来たゴミの分別は継続すべきだと思います。何で生ゴミの中にペットボトルを入れるのがOKで、プラスチックのトレーがOKなんですか?(川内地区, 女性, 50~59歳)

旧村松地区の市街地のゴミの出し方、道路にゴミ袋を置いてあり、カラスが散らしている。市外地(町の小路や市街の周辺)には、ゴミ箱があるがカラスに散らされないような工夫をしてほしい。道路に袋や、生ゴミが散らかっている。(菅名地区, 女性, 60~69歳)

循環型社会の形成

風力、太陽を使った省エネ。生ゴミは土にかえす。ゴミはなるべく出さないようにする。(五泉地区, 女性, 50~59歳)

ゴミ焼却場の熱を利用して温水プールなど(村松地区, 男性, 40~49歳)

風の強い地域にぜひ風力発電を切望します。(単本地区, 女性, 50~59歳)

地球環境問題

身近な事から少しずつでも環境問題に取り組みたいをわかりやすく伝えて欲しいと思う。最近の地球温暖化など考えると、とても深刻で、早く取り組まなければいけないと思う。(五泉地区, 女性, 40~49歳)

全体としての取り組みは、良好と考える。地球温暖化現象は限界寸前だといわれる。最近の大雨もそれと無関係とは言い切れない。何を急ぐべきか考えるべき時と考える。(五泉地区, 女性, 70~79歳)

現時点では環境問題はどうしても他の項目に比べ優先順位はおさえられがちになっているが、次世代は地球環境的なグローバル面との関連からも大変大きな最重要課題として我々が向き合わなければならないと思う。(五泉地区, 性別不明, 50~59歳)

山、川によりおいしい水等の五泉の財産を守りつつも、21世紀(今の時代)に対応した近未来都市に少しずつ近づける様に努力する街づくりをする姿勢であってほしい。まずは節水かアイドリングストップ等、身近に出来る事から実行していこうと思う(環境の為に)(川東地区, 男性, 20~29歳)

環境保全のため、リサイクルや米のとぎ汁を下水に流さない。クーラーの使用をひかえるなど、自分で出来る範囲で努力したい。(大蒲原地区, 女性, 30~39歳)

開発(整備)・保全全般、開発(整備)と保全との調和

昔、蛍がいたのに、ここ数年はずっと見ていないので、森林伐採など環境をあまり変えないで欲しい。(五泉地区, 女性, 20~29歳)

今の五泉市は、緑にも恵まれているので、今後も大切にしていきたい。住み良い環境が大

切！（五泉地区，性別不明，40～49歳）

治山、治水をはかりながら、豊かな自然環境を後世に残せるような政策をお願いしたい。

（川東地区，男性，60～69歳）

自然が豊かな五泉市になってほしいです。（村松地区，女性，30～39歳）

山の景観が損われるような仕事をしている業者を少なくしてほしい。（大蒲原地区，男性，50～59歳）

自然をこわさない開発を御願います。（菅名地区，男性，30～39歳）

個人の意識

市 町内 家庭 個人のように、個人レベルで出来る取り組みを提案して行くべきと思う。個人が出来なければ、市全体は無理である。まずは個人のレベルアップが初めと思います。

（五泉地区，男性，40～49歳）

環境に関する問題は、山積みで今こそ何かしなくてはという思いがある一方、目先の忙しさ、仕事の事でいっぱい입니다。まずは、今の自分でもできること（油の処理、米のとぎ汁など）からはじめたいと思いました。（五泉地区，女性，30～39歳）

自分で出来る事、もったいない事はしたくないです。気持ちは豊かでありたい。（五泉地区，女性，60～69歳）

どんな素晴らしい環境像を案じてこの地に住む私達が一人一人の責任ある心で美しい故郷（国）（地球）を守って生活出来るよう実行して参ります。（五泉地区，性別不明，70～79歳）

環境を良くしたい。保全したい気持ちは多くの市民が持っていると思うが問題は何をどうしたら良いかといった具体的方法がボンヤリしている。情報の提供、学習会等で啓蒙すべき。（橋田地区，男性，50～59歳）

市民一人ひとりがふだんから意識をもって、環境問題に取り組んで行くことを望みます。（橋田地区，男性，50～59歳）

環境問題は個人の意識の問題も大きいと思います。（川東地区，女性，40～49歳）

環境問題といっても個人が取り組めるのはせいぜいゴミの分別位はしっかりと協力して自分自身も学んで行きたい。専門的な学習があればいつでも参加したい。（村松地区，女性，70～79歳）

私が、小中学校に行ってた頃は環境問題のこととかは、ほとんど習ってなかったような気がします。小さい頃から学習すると意識も違ってくると思うので、学校の学習に取り入れてもいいと思います。（大蒲原地区，女性，20～29歳）

個人で出来ることは今まで通り続けたいと思います。又、機会があればボランティア等に参加し少しでも環境保全に勤めたいと思います。（大蒲原地区，性別不明，60～69歳）

行政の対応について、行政への要望について

今回のアンケート調査の結果を、市民税負担増の手段にしないで、市民、団体、ボランティアで環境を守っていく努力をうながすよう市が中心となってさまざまな活動を行う必要があると思う。（五泉地区，男性，50～59歳）

周辺市町村が連絡・協調を計り進めていくことが必要と思われます。(五泉地区, 男性, 50~59歳)

環境活動に参加して思う事は統制されていない作業ぶりになっている事です。各市議には地区を割り振りその地区の自然環境、生活環境の責任を担せれば活動計画、作業方法等地域をまとめて活動出来ると思います。(五泉地区, 男性, 60~69歳)

各部落に環境係、委員等を設ける(村松地区, 性別不明, 50~59歳)

行政の指導で1人1人がルールを守る教育の立場でそして教育者(先生)が小・中・高に立地現場教育を御願います。(村松地区, 性別不明, 60~69歳)

基本計画をしっかりと最後まで責任の持てる環境作りを望みます。(大蒲原地区, 女性, 60~69歳)

ごみゼロ運動等、五泉市で企画してくれれば、参加したいと思います。(菅名地区, 女性, 40~49歳)

その他

環境もダメで、経済もダメで良いところが何も無い。(五泉地区, 女性, 30~39歳)

無理のないようがんばって下さい。年ですので何も出来ません。(橋田地区, 女性, 70~79歳)

私がこれから出来ると思う様な事はありません。近年、皆良くなって来ていると思います。(住所不明, 女性, 70~79歳)

年寄に対してアンケートは不用です。(五泉地区, 女性, 70~79歳)

毎日毎日、隣接工場の音楽がうるさくてどうにかして欲しい。仕事をしに来ているのではなく音楽を聞きに来ているのだろうか。音楽を流すなら、それなりの防音をしてもらわないと困る。こちらとしてもストレスが溜まって仕方ない。(村松地区, 男性, 30~39歳)

